

## II 事業の概要

2014年度に行われた学校法人及び設置学校における事業の概要は、次のとおりです。URLがある場合は、ここから当該事項の詳細を御覧いただけます。

### 1 重点施策の推進

#### (1) 学校法人明治大学中期計画の策定～長期ビジョン（将来像）の実現に向けて

学校法人明治大学長期ビジョン（以下「長期ビジョン」という。）は、建学の精神である「権利自由」・「独立自治」にのっとり、創立150周年を見据えつつ、10年後の明治大学のあるべき姿について方向性と到達目標を定めたものです。

※ [http://www.meiji.ac.jp/chousaka/longterm\\_visions.html](http://www.meiji.ac.jp/chousaka/longterm_visions.html)

#### 【長期ビジョン】

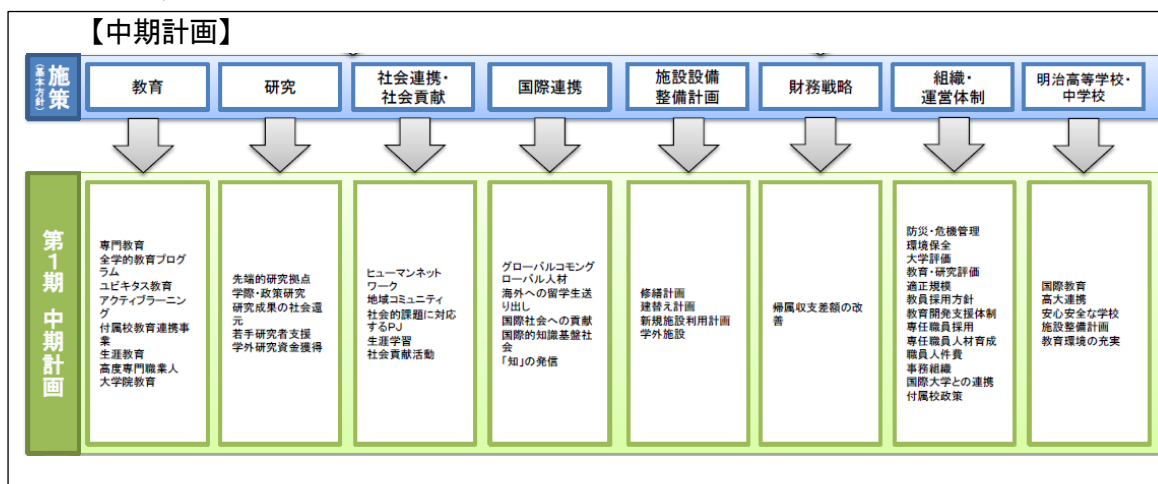
世界へ — 国際人の育成と交流のための拠点

世界で活躍する強く輝く「個」を育てる教育研究の実現

この長期ビジョンを着実に実現するため、学校法人明治大学中期計画策定委員会（以下「中期計画策定委員会」という。）において、約1年間にわたる検討を経て、2014年9月に「学校法人明治大学中期計画」が策定されました。中期計画策定委員会では、常勤理事を責任者とする3つの専門部会を設置し、副学長等の教学役職者の協力を得ながら施策ごとに計画を作成した後、同委員長である経営企画担当理事の下で全体の取りまとめを行いました。

中期計画の期間は4年間と定め、2014年度～2017年度を「第1期」、2018年度～2021年度を「第2期」と位置付けています。このたび策定した「第1期中期計画」の諸施策は、各年度の事業計画や予算編成に適宜反映させるとともに、各所管において実行に移していきます。

なお、中期計画は定期的に進捗状況をチェックしていきます。



※ [http://www.meiji.ac.jp/chousaka/middleterm\\_plan\\_ver1.html](http://www.meiji.ac.jp/chousaka/middleterm_plan_ver1.html)

#### (2) 「スーパーグローバル大学創成支援」事業（SGU）に採択

本学の取組み「世界へ！MEIJI8000—学生の主体的学びを育み、未来開拓力に優れた人材を育成—」が、文部科学省の平成26年度「スーパーグローバル大学

創成支援」事業（以下「SGU」という。）の「タイプB：グローバル化牽引型」に採択されました。

「未来開拓力に優れた人材」とは、グローバル化がもたらす多様な価値の世界で、自ら考え、自ら意思決定し、自ら新しい価値を創造する人材であり、その育成は、主体的学びを通じてのみ可能となります。本学が考えるスーパーグローバル大学とは、こうした主体的に学ぶ学生を育む大学のことであり、「MEIJI8000」とは毎年の卒業生8,000名を「未来開拓力に優れた人材」として育てるという本学の決意の表れです。

構想を具現化するため、柔軟な学事暦を作り、海外留学を容易にするアクティブ・タームを展開することにより、10年後には、2人に1人が単位修得の海外留学を可能とする一方で、外国人留学生の受入れを4,000人、日本人学生の送出し学生を4,000人、外国語による授業科目を増加させる等の達成目標を掲げています。さらに混住型学生宿舎の開設、地域との連携、研究拠点を活かした教育、また明治大学アセアンセンターの活用や国際大学との連携等を通じて、全学生が国内外で異文化体験するという意欲的な構想の実現に向けて取り組んでいきます。

2015年3月31日にはSGU採択を記念し、国際シンポジウム「東アジア地域における相互理解と相互信頼の醸成～安定的に繁栄する東アジアの形成にむけて～」を開催し、海外から第一線の研究者を招聘して実施したディスカッション及び学生チームによる英語でのプレゼンテーションを行いました。

### (3) 系列法人「国際大学」との連携～世界トップクラスのグローバルユニバーシティを目指して

2013年4月1日から、国際大学が本学の系列法人となりました。両法人は、相互の建学の理念を尊重の上、法人間の連携及び教育研究活動の包括的な交流と連携・協力を推進することによって、両法人の目指す「世界トップクラスのグローバルユニバーシティ」の実現に向けて、相互に事業計画及び教育研究活動の支援を行っています。2014年度も本学から役員の過半数を派遣するとともに、多方面で連携事業を実施しました。

※ 国際大学HP <http://www.iuj.ac.jp/ja/>

（国際大学は、1982年に設立された日本初の大学院大学で、授業はすべて英語で行われています。キャンパスは新潟県南魚沼市にあり、学生の9割を留学生が占め、全寮制、完全秋入学制度などの特徴があります。国際大学も「スーパーグローバル大学創成支援」事業（SGU）のタイプBに採択されました。）

#### ア 系列法人協議会の開催

両法人が合同で設置する協議会で、両法人間で行う連携・協力事業に関する事項を協議することによって、相互の交流及び発展を図ることを目的に開催しています。職員研修、教学プログラム、施設利用など幅広い分野について協議を行いました。

#### イ イベント・ガイダンス等の実施

- (ア) 本学大学院合同進学相談会への国際大学ブース設置
- (イ) 国際大学インターナショナルフェスティバルへ本学学生等が参加
- (ウ) 駿河台・中野キャンパスでの国際大学入学ガイダンスの開催

(エ) 国際大学留学生参加の駿河台，和泉キャンパスツアーの実施

#### ウ 職員研修

1年間の職員研修（1名の相互交代）及び国際大学において本学職員の英語合宿研修を実施しました。

#### エ 共同ワークショップの開催

2015年1月16日に，本学国際総合研究所と国際大学研究所の共同研究ワークショップを開催しました。

### (4) アップトゥデイトな情報発信～各種広報活動の展開

広報戦略本部を中心に，教育・研究活動及びこれに付随する諸活動に関する情報等を広く学外に発信するための広報戦略を策定するとともに，効果的な広報活動を全学的に推進しました。「明治大学広報」，広報誌「M－S t y l e」・「明治」等の紙媒体のほか，ホームページ等各種媒体を通じた情報発信，メディア・記者に対するプレスリリース等により，「旬（しゅん）」の明治大学の情報を学外に発信しました。

#### ア 広報冊子「M' s Opinion」を発行

大学の知を実社会の多様な問題の解決に役立てたいとの思いから，幅広い分野で最先端の研究に取り組む本学教員50人の，時事問題に対する提言をまとめた広報冊子「M' s Opinion－明治大学発，社会への提言」を発行しました。

#### イ 「Meiji.net」が日本BtoB広告賞で「銀賞」を受賞

本学のプロモーションサイト「Meiji.net」が，一般社団法人日本BtoB広告協会が主催する「2014日本BtoB広告賞」のウェブサイト（コープレートサイト）の部で，銀賞を受賞しました。「Meiji.net」は，「先端研究」「『個』を強くする教育」「世界で活躍する人物」など本学の最新情報とともに，教員による提言や最新の研究現場を伝える動画などを配信しています。

### (5) 卒業生とのヒューマンネットワーク

#### ア 第17回ホームカミングデーの開催（2014年10月19日）

駿河台キャンパスにおいて開催し，3,630名の校友やその家族等が来場しました。

#### イ ヒューマンネットワークの拡大～新たな地域支部に会旗授与

校友会が2014年度に新たに承認した次の団体に会旗を授与しました。

##### (ア) 地域支部

新潟県魚沼地域支部，東京都稲城地域支部

##### (イ) 海外紫紺会

マニラ紫紺会，インド紫紺会，サイゴン紫紺会，ソウル紫紺会，ロシア紫紺会，ブラジル紫紺会，ハノイ紫紺会，カナダ明治大学校友会

#### ウ 地方出身者対象奨学金「つなげ！紫紺の“たすき”」奨学金創設

校友会は，「校友から明大生へ，襷（たすき）を繋（つな）ぐように，皆さんを応援したい」という願いをこめて，「つなげ！紫紺の“たすき”」奨学金を創設しました。この奨学金は，学費等以外にも生活費を必要とする地方出身者に奨学金を給付することにより，地方からの入学を促進することを目的とした給付型奨学金（返還不要）です。なお，採用された場合は，可能な限り，校友会が主催・後援する式典，

講演会等への参加に協力することとなります。

#### (6) ステークホルダーからの支援～募金活動の推進

本年度に本学が受けた寄付金の総額は、3億7,550万6,889円（前年度比約3,200万円の増）でした。

※ <http://www.meiji.ac.jp/bokin/index.html>

##### ア 未来サポーター募金

未来サポーター募金は、奨学サポート、国際化サポート、研究サポート、スポーツサポート及びキャンパス整備サポートの5つの資金から構成される寄付者の意思を反映しやすいクラウドファンディング型の募金制度です。主な募集対象者は校友、教職員、一般篤志家の個人・団体・法人です。2014年度は未来サポーター募金に対し、3,195件、1億6,434万5,895円（前年度比約2,680万円の増）の寄付を賜りました。7月には前年度の各資金の使用実績等をまとめた「活動報告書」を作成し、これまでに未来サポーター募金に対して寄付をいただいた寄付者全員に発送しました。また、10月のホームカミングデーでは、事前に当日の寄付を招待状等で告知した結果、1日で491件、748万8千円もの寄付を賜りました。同日には前年度中に一定の基準額に到達した寄付者の方々をお招きし、大学役職者との交流会を開催しました。そのほか、寄付の使用状況や寄付者芳名等を掲載した「明治大学広報募金特別号」を9月と1月に発行し、全国の校友へ向けて送付しました。

なお、不要な書籍やDVD等の買取査定額を奨学サポート資金として寄付ができる本棚募金に対しては、2014年度は約346万円の寄付を賜りました。

##### イ 教育振興協力資金

教育振興協力資金は、本学の教育・研究の充実・発展に必要な経費として活用するための資金であり、主に学部生、大学院生、専門職大学院生、法科大学院生の父母と明治高等学校・中学校の新入生父母を対象に募集しています。2014年度は464件、約3,267万6千円の寄付を賜りました。

##### ウ その他寄付金

その他の寄付金として、学術研究奨励寄付金に約5,900万円、校友会奨学金に約4,550万円、寄付講座に約2,700万円など、約1億7,848万4,994円（前年度比約970万円の増）の寄付を賜りました。

#### (7) 教育の情報化推進及び情報環境整備

##### ア eプレゼン・コンテストの開催

このコンテストは、大学生活の出来事や学んだことをプレゼンテーションするため、動画や音楽、写真などを使い、構築したコンテンツを作品として競い合うものです。実社会において必要とされる力を向上させることなどを目的として開催されています。2014年度で4回目となるコンテストでは、成績優秀者は韓国に派遣され、慶州と嶺南大学校（本学協定校）にて研修を実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/ubiq/projects/epresen/index.html>

##### イ 情報環境整備

2014年度から、「生田仮想デスクトップPC」の運用を開始しました。

生田キャンパスの情報処理教室のPCにインストールされているアプリケーションのほとんどを、研究室のPC、自宅等のPC、スマートフォン、タブレット端末等からネットワークを経由して利用できるようになりました。「生田仮想デスクトップPC」を用いると、SPSS, MATLAB, Mathematica等のソフトウェアを、自身のPCにインストールすることなく利用することができます。

#### ウ デジタルコンテンツの発信

2014年度もシンポジウム・フォーラム・セミナー・イベント等を収録し、大学HPや iTunes Uアプリを通じて積極的に公開しました。

#### (8) 社会に有用な人材の育成～国家試験対策の指導強化・充実

本学では国家試験指導センター（法制研究所，経理研究所，行政研究所）を設置して資格取得及び職業能力の向上を志す本学学生及び卒業生を支援し，社会に有用な人材を育成しています。

2014年度の各試験の合格者数は，司法試験63名，国家公務員総合職試験25名，公認会計士試験78名でした。

※ <http://www.meiji.ac.jp/netsc/index.html>

#### (9) 学校法人の管理・運営

##### ア 男女共同参画の推進

本学では，男女共同参画社会基本法の基本理念に基づき，2009年4月に「男女共同参画推進委員会」を設置しました。同委員会では，男女共同参画に留まらず，「子育て」，「介護」，「人権」，「ダイバシティマネジメント」など多岐にわたる議論がなされ，本学における課題を明確にしてきました。

2014年10月には，文部科学省が公募した平成26年度科学技術人材育成費補助事業「女性研究者研究活動支援事業（一般型）」に採択され，3年間にわたり年間最大2，200万円の支援を受けることとなりました。

本学が計画している女性研究者研究活動支援事業は，理系分野をはじめ，本学全体で大学院の女子学生・女子研究者を増やし，トップクラスの研究者を養成するとともに，男女共同参画を一層推進するため，テーマに沿って女性研究者研究活動支援体制を構築し，活動を行うものです。

男女共同参画のさらなる推進を目的に，2015年2月には「明治大学男女共同参画推進センター」を設置しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/koho/diversity/index.html>

##### イ 「その時」に備えるために～防災・危機管理体制の確立

大規模災害の発生等を想定し，学生用・教員用・職員用といったカテゴリーごとの災害発生時対応マニュアルに基づき，駿河台・和泉・生田・中野の各キャンパス及び高等学校・中学校において防災訓練等を実施しました。

##### ウ 事務組織の改編

南多摩キャンパス開設準備室を改廃し，新たにスポーツパーク準備室を設置しました。

## 2 学部・大学院の整備等

(1) 「グローバル・ガバナンス研究科（博士後期課程）」（Graduate School of Global Governance）開設

2014年4月に、全てのカリキュラムを英語で実施する博士後期課程のみの研究科を新たに設置しました。「公共政策」「国際開発政策」「地域マネジメント」の3つの専門分野を提供し、「世界がいま必要とする人材」の養成を目指します。入学定員5名、収容定員15名。

(2) 大学院研究科入学定員及び収容定員の変更

2014年度から、法学研究科の入学定員及び収容定員を次のとおり変更しました。

研究科	専攻	博士前期課程・修士課程	
		入学定員	収容定員
法学研究科	公法学専攻	25名 → 20名	50名 → 40名
	民法学専攻	25名 → 20名	50名 → 40名
	計	50名 → 40名	100名 → 80名

(3) 大学院研究科の課程変更

2014年4月に大学院国際日本学研究科国際日本学専攻修士課程を博士課程に変更しました。

(4) 学部・大学院教育の進展整備

学部・大学院の設置以降、完成年度まで引き続き教育環境の整備を行いました。

総合数理学部現象数理学科，先端メディアサイエンス学科，ネットワークデザイン学科（完成年度：2016年度）

(5) 学部・大学院の開設準備

開設に向けて必要な準備を行いました。

スポーツ科学部（仮称）

### 3 教育研究環境の整備

本学のより一層の発展に寄与するため、教育研究環境の整備を行いました。

(1) 生田キャンパス第一校舎6号館～閉鎖系ガラス温室などの最新鋭設備

農学部の新たな実験研究棟となる第一校舎6号館（地下1階・地上4階建て）の利用を開始しました。同館は、教室や通常の実験室・研究室以外に、遺伝子組換え体を扱う培養室や、最上階には日影の影響を受けない閉鎖系ガラス温室を設けたほか、通風・採光に優れた吹抜けや休憩スペースも共用部に配置しています。



(2) 駿河台キャンパス

2014年度から段階的に実施しているリバティタワー，アカデミーコモン，研究棟等の改修工事を行いました。

その他，キャンパス隣接地不動産を取得するなどの環境整備に取り組みました。

(3) 施設設備整備

第1期中期計画に基づき、既存施設の建替え計画の策定，新規施設の利用計画等について検討を行うとともに、学外賃借施設の学内への取り込みの推進を行いました。

## 4 教育改革と教学運営体制の整備

### (1) 総合的教育改革の推進

「明治の『教育力』の飛躍」を目標として、2014年度も「総合的教育改革」の検討を重ね、着実に実行していくための協議を行いました。総合的教育改革は、SGU構想の基盤ともなっており、①50分授業を1モジュールとする新しい授業時間割の設計とアクティブ・ラーニングなど新しい教育方法の推進、②2学期制から4学期制への移行など、国際化に対応した学期制の採用を実現することにより、教育の質的転換と国際通用性のさらなる高度化を目指します。

### (2) 教学運営体制の強化

学長の下に総合政策、教務（教務部長兼務）、学務（学生部長兼務）、研究、社会連携、国際交流、広報（学長室専門員長兼務）を担当する7名の副学長を配置し、これら副学長と学長室専門員が連携・協力することによって、多岐にわたる教学関連の諸課題に取り組みました。

## 5 教育関連活動

### (1) 法科大学院修了生の司法試験合格を支援～「法務研究所」開所

「明治大学法曹会」の全面協力のもと、法科大学院修了生の司法試験合格を支援する「法務研究所」を開所しました。ここでは、法科大学院で学んだ知識をブラッシュアップするため、修了生の答案作成・起案能力の向上などを図る指導プログラムを展開します。

### (2) ELM（法・医・倫理の資料館）が仮開館

医事法学・生命倫理学・その周辺領域の資料を専門に扱う「ELM（エルム）」を仮開館しました。今後の展開として、ユーザーフレンドリーな検索システムの構築のみならず、シンポジウムやセミナーを通じて、医療をめぐる法的・倫理的問題に関する情報提供を行っていくとともに、国内外の関係大学・団体・学会等との事業連携、そして、その前提として本学各セクションとの連携強化も同時に進めていく方針です。2015年度に本開館を予定しています。

### (3) 名誉博士学位の贈呈

国連難民高等弁務官（元ポルトガル首相）のアントニオ・グテーレス氏に名誉博士学位を贈呈しました。グテーレス氏の国連難民高等弁務官としての社会的実績、とりわけ世界平和に向けた人道的課題解決への多大なる貢献を高く評価したことによるものです。本学における名誉博士学位の贈呈は31人目で、2011年以来3年ぶりとなります。



### (4) 学部・研究科の周年・開設記念行事

#### ア 商学部110周年

創設110周年の特別企画として、以下のイベントを開催しました。

- (ア) 学術シンポジウム「ビットコインは貨幣なのか？通貨の現在・過去・未来」
- (イ) 国際シンポジウム「ファッション・ビジネスの新展開とキャリア創造」

(ウ) 学生シンポジウム「OB OG対談—商学部のアイデンティティと学生文化—」

(エ) 国際交流フォーラム「留学・異文化・国際化?! 留学経験者座談会」

(オ) 4大学交流シンポジウム「学部の個性と連携—21世紀のビジネス教育のあり方をめぐって—」(関西学院大学, 青山学院大学, 立教大学)

#### イ 理工学部70周年

創設70周年を記念して、「もっと前へ, さらに世界へ ~理解から創造へ~」と題した記念式典・記念講演を開催しました。記念講演では, 元理工学部教授の北野大氏及び都市計画家の西郷真理子氏がそれぞれのテーマで講演しました。

#### ウ 情報コミュニケーション学部10周年

創設10周年の記念行事として, 以下のイベントを開催しました。

(ア) 資料映像上映会「女性法曹界の道を拓いた人々—明治大学専門部女子部の足跡—」

(イ) 特別講演会「近代社会の再封建化: 社会構造・ジェンダー・経済」

(ウ) 記念シンポジウム「情報コミュニケーション学部の原点と現点, そしてこれから」

#### エ 専門職大学院ガバナンス研究科10周年

開設10周年を記念して「公共政策大学院の未来~これまでの10年とこれからの10年~」と題した記念シンポジウムを開催しました。

#### オ 専門職大学院グローバル・ビジネス研究科10周年

開設10周年を記念して, 以下のプログラムやイベントを実施・開催しました。

(ア) 記念プログラム

リバティアカデミーにおいて, エグゼクティブプログラムとして「ファミリービジネス」をテーマに2講座を開講しました。

(イ) 記念シンポジウム

第1部では「MBA10年間の回顧と展望~MBSは生き残れるか~」, 第2部では「ファミリービジネスとアセアン」をテーマにしたパネスディスカッションを実施しました。

#### カ 法科大学院10周年

開設10周年を記念して「法科大学院10年の歩みと未来への展望」と題した記念シンポジウムを開催しました。第1部では「日本社会における司法の役割」をテーマに講演を行い, 第2部では, 「専門法曹養成の展望」をテーマとしたパネルディスカッションを行いました。

#### キ グローバル・ガバナンス研究科開設記念ラウンド・テーブル

2014年4月に新たに開設したグローバル・ガバナンス研究科は, 「21世紀におけるアジアからの発信~地球規模の問題に挑戦するプロフェッショナルをどう育成するか~」と題した開設記念ラウンド・テーブルを開催しました。海外の大学や国際機関からパネリストを迎え, これからの公共政策大学院のあり方について意見交換を行いました。



## 6 研究関連活動

学長を機構長とする研究・知財戦略機構（以下「機構」という。）は、本学における研究活動を統括し、世界のトップユニバーシティを目指し、世界的水準の研究を推進するため、その重点領域を定めて研究拠点の育成を図り、研究の国際化を推進するとともに、その成果を広く社会に還元することを目的としています。

2014年度においても機構の下に設置されている研究政策の企画・立案から実施を担う研究企画推進本部及び産官学連携活動を推進する研究活用知財本部を両翼とし、さらに附属研究機関・附属研究施設等において研究活動を推進しました。

各研究機関等における2014年度の主な研究活動は次のとおりです。

### (1) 競争的研究資金の獲得

獲得した主な学外の競争的研究資金は次のとおりです。その他、研究所研究費、大学院研究科共同研究、新領域創成型研究・若手研究等があり、研究活動の推進・活性化を図っています。

#### ア 文部科学省2014年度「科学研究費助成事業」

本件の採択件数は新規と継続分を合わせ274件（前年度比24件増）、金額は6億1,189万円（同5,257万円増）で過去最高を記録しました。

文部科学省が発表した「平成26年度科学研究費（補助金分・基金分）の配分について」のランキングによると、本学は、新規と継続分を合わせた採択件数では全国1,300の研究機関のうち第54位（昨年度62位）、採択額では全国56位（昨年度65位）と大きく飛躍し、いずれも過去最高を記録しました。

また、2014年度に新たに発表された「細目別採択件数上位10機関（過去5年の新規採択の累計数）」でも、本学は17分野でランクインし、このうち「考古学」の分野では全国第3位、「日本文学」及び「ヨーロッパ史・アメリカ史」では全国第4位、「経営学」及び「経営・経済農学」では全国5位と人文社会学系の活躍が目立ちました。

#### イ 文部科学省2014年度「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業（大型研究）」

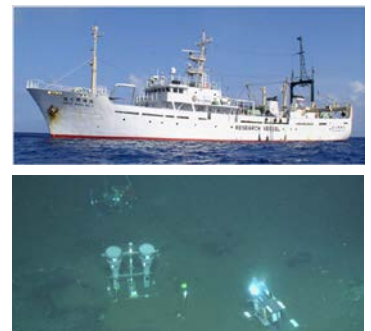
この事業は、私立大学が経営戦略に基づいて行う研究基盤の形成を支援する事業です。本学からは4件、4億8,228万円が採択されました。

### (2) 世界に向けた研究発信

#### ア ガスハイドレート研究所 メタンハイドレート調査を開始

2014年度の表層型メタンハイドレート調査を4月に開始しました。この調査は、国のメタンハイドレート開発促進事業の一環として行われるもので、2013年度に引き続き産業技術総合研究所とともに、表層型メタンハイドレートの資源量把握を目指しています。（ア）広域地質調査、（イ）詳細地質調査、（ウ）掘削調査、（エ）電磁探査、（オ）環境モニタリング調査の5つからなり、このうち、本学は（ア）広域地質調査、（ウ）掘削調査、（オ）環境モニタリング調査を担当しています。

※ <http://www.kisc.meiji.ac.jp/~hydrate/>



## イ 世界初「折紙式3次元プリンター」を開発

先端数理科学インスティテュート（MIMS）副所長の萩原一郎特任教授らは、折紙の技法を数学的に応用した「折紙工学」で世界初の「折紙式3次元プリンター」を開発しました。このプリンターは、写真画像などの3次元（3D）データを2次元（2D）の展開図データに変換し、普通の印刷機で用紙に印刷します。印刷された折り目に沿って、紙を折り、糊などで貼り合わせると手作りの立体物が得られます。既存の「積層型3次元プリンター」を凌駕する技術として注目が高まっています。

## ウ 遺伝性疾患・マルファン症候群の原因となる *FBN1* 遺伝子変異を有するブタ 遺伝子変異を有するブタの作出に成功

バイオリソース研究国際インスティテュートは、慶應義塾大学医学部との共同研究により、人工酵素と体細胞核移植を組み合わせた方法により、マルファン症候群の原因となる *FBN1* 遺伝子変異を有するブタを作ることに成功しました。本研究によってマルファン症候群の病因解明や治療法の開発、特に心臓・血管組織や骨格に現れる側弯症などの病変に対する外科的手技を伴う治療法の開発に大きく貢献すると考えられます。

## エ 立体的な肝臓組織の作製に成功

理工学部応用化学科の相澤守教授は、東京慈恵会医科大学との共同研究により、立体的な肝臓組織の作製技術を開発しました。マウスへの移植でも成果が確認されており、10年後の実用化や、他臓器も含めた再生医療への応用を目指しています。相澤教授らは今後、作製した肝臓組織を移植することで、低下した肝機能の一部を回復させる治療法の確立を目指すとともに、「iPS細胞（人工多能性幹細胞）」を使用して立体的な肝臓組織を作る研究も進めていく方針です。

## (3) 「革新的イノベーション創出プログラム（センター・オブ・イノベーション COI STREAM）」に採択

総合数理学部先端メディアサイエンス学科が中心となって参加する課題「感性とデジタル製造を直結し、生活者の創造性を拡張するファブ地球社会創造拠点」が、文部科学省・科学技術振興機構による「革新的イノベーション創出プログラム（センター・オブ・イノベーション COI STREAM）」に採択されました。

これは、本学が中核機関となりCOI-T（トライアル）拠点として2013年度より活動していた「感性に基づく個別化循環型社会の創造」の成果が認められたものです。COI拠点に関しては、慶應義塾大学が中核拠点となり、本学と慶應義塾大学を中心機関、関西学院大学と山形大学をサテライト機関として実施します。

## (4) 先端数理科学インスティテュート（MIMS）が、文部科学省「共同利用・共同研究拠点」に認定

先端数理科学インスティテュート（MIMS）が、文部科学省「共同利用・共同研究拠点」に認定されました。本学機関の同拠点への認定は初の快挙です。拠点名称は「現象数理学研究拠点」で、認定期間は2020年3月31日までとなります。なお、数学、数理科学分野で拠点認定を受けたのは、京都大学、九州大学に次いで3校目で、私大では初。同分野の発展への寄与も大きく期待されています。

また、共同利用・共同研究拠点の認定と関連して、文部科学省の2014年度「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業～スタートアップ支援～」による補助金交付も決まり、交付決定額は2,709万5千円となりました。

#### (5) 産官学連携

##### ア 信州大学、長野県長和町と今後の連携強化を確認

研究・知財戦略機構の附属研究施設である「黒耀石研究センター」(長野県長和町)を通じて協力関係にある長野県長和町とかねてから連携・協力に関する協定を締結している信州大学と引き続き研究協力を行うことを確認するとともに、協定の更新を行いました。

##### イ 研究・知財戦略機構 八千代銀行や富士通、川崎市と「知的財産交流会」

(株)八千代銀行や富士通(株)、川崎市などと共催で、「知的財産交流会」を開催しました。この知的財産交流会は、大手企業が保有する知的財産(特許)を地元の中小企業に照会することで事業創出のマッチングを促し、銀行や自治体と協働して新製品開発につなげることを目的に2013年度から開催しています。

#### (6) 各インスティテュート、研究センターの活動

##### ア 数理科学の国際拠点～先端数理科学インスティテュート(MIMS)

MIMSは、機構附属研究機関(特別推進研究インスティテュート)として設立され、社会との関わりを重視した数理科学の発展・普及を図ることを目的に社会と自然に係る現象の数理科学的解析を課題とする国際的研究拠点です。

上述(4)のとおり、「共同利用・共同研究拠点」に認定されたほか、「日本基礎心理学第6回錯視コンテスト」で入賞、「日本応用数理学会2014年度会」で3つの賞を受賞するなど、様々な場面で高く評価されました。

※ <http://www.mims.meiji.ac.jp/>

##### イ 世界が持続可能な成長をしていくために～国際総合研究所(MIGA)

MIGAは、機構附属研究機関(特別推進研究インスティテュート)として設立され、国際的な諸問題を研究課題に捉え、その解決策を探求及び立案することにより、国際社会に対して政策を提言していく国際的研究拠点です。系列法人である国際大学との共同ワークショップ開催のほか、コラムの発行、ランチタイムセミナーの開催など、精力的に活動を行いました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/miga/index.html>

##### ウ クローンブタで医療に貢献～バイオリソース研究国際インスティテュート(MUIIBR)

MUIIBRは、機構附属研究機関(特別推進研究インスティテュート)として設立され、農学、特にAnimal Biotechnologyを基盤に、次世代の医療技術開発に貢献する生物資源の創出・維持・活用を行うことを目的とした国際的研究拠点です。(2)にて述べた遺伝性疾患・マルファン症候群の原因となる*FBNI*遺伝子変異を有するブタ/遺伝子変異を有するブタの作出など、各種メディアでも研究成果が掲載・紹介されました。

※ <http://muiibr.com/>

##### エ 黒耀石研究センター

日本で唯一の黒曜石と人類史に関する研究施設黒曜石研究センター（長野県小県郡長和町）は、機構の附属研究施設として「ヒト—資源環境系」という概念の下に、各種研究プロジェクトを立ち上げ、黒曜石を含む多様な資源に対する人類の働きかけのダイナミズムに関する研究を推進しています。12月には協定を締結している信州大学等と共同で講演会「信州の黒曜石のいま」を開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cols/index.html>

#### オ 植物工場基盤技術研究センター

経済産業省平成21年度先進的植物工場施設設備費補助金事業の補助金を受けて建てられたもので、植物工場に関する研究開発・人材育成の全国8拠点の一つです（私立大学では本学のみ）。7月には、一般社団法人日本施設園芸協会主催の「施設園芸・植物工場展2014」にて、「LED光源を利用した人工光型野菜栽培システムのディスプレイ」を展示し、多くの生産者、企業関係者等の注目を集めました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/plant/index.html>

#### カ 地域産学連携研究センター（生田連携センター）

本センターは、本学が有する技術シーズ・知的資産を有効活用し、川崎市をはじめとする神奈川県における新技術・新事業の創出、地域中小企業を育成する産学連携促進事業の実施、起業・経営セミナー等の開催、地域中小企業者・住民への施設の貸出し等の地域連携交流を促進することを目的としています。

2014年度には、本センターの入居企業が、川崎市・川崎商工会議所などで組織する「川崎ものづくりブランド推進協議会」から、第11回川崎ものづくりブランドに認定されました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cii/index.html>

## 7 国際化の推進

本学の取組み「世界へ！MEIJI8000—学生の主体的学びを育み、未来開拓力に優れた人材を育成—」が、文部科学省の平成26年度「スーパーグローバル大学創成支援」事業（SGU）の「タイプB：グローバル化牽引型」に採択されました。これは今後10年間にわたって日本社会のグローバル化を牽引する大学として、国に認められたことを意味します。また、これまで本学が積み重ねてきた様々な大学改革の取組みや実績が評価された結果であるとも言えます。

2014年度も、世界に羽ばたき、社会と世界をリードする人材教育の実現を目指して、国際化に関する取組みを積極的に推進しました。

### (1) 英語学位コースの拡充

これまでに英語学位コース（英語のみで学位取得できるコース）を学部・大学院併せて5つ設置していますが、2014年度にはグローバル・ガバナンス研究科（博士後期課程）を開設し、英語学位コースは合計6コースとなりました。

### (2) 海外拠点

国際連携を積極的に推進するため、海外拠点としてマレーシア事務所、北京事務所及び明治大学アセアンセンター（タイ・バンコク）を設けています。

「明治大学アセアンセンター」は2012年度に採択された文部科学省「大学の世

世界展開力強化事業－ASEAN諸国等との大学間交流形成支援」事業の「日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダープログラム」の展開拠点として活用されているほか、昨年度に引き続き、ワークショップ、遠隔授業、短期学生交流プログラムなどを実施しました。

### (3) 文部科学省による大学教育改革の支援プログラム

文部科学省「国公立大学を通じた大学教育改革の支援」のプログラムに採択された3件の取組みについて、引き続き2014年度も事業を展開しました。

#### ア 大学間連携共同教育推進事業（明治大学・立教大学・国際大学による共同申請） （「国際協力人材」育成プログラム）

※ <http://www.hric.jp/>

- (ア) 日本初の模擬国連ワークショップの開催
- (イ) 国際大学での英語によるワークショップの開催
- (ウ) 国連開発計画（UNDP）キャリアセミナー

#### イ 大学の世界展開力強化事業－ASEAN諸国等との大学間交流形成支援（日本ASEANリテラシーを重視した実務型リーダープログラム）

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/aseancenter/>

- (ア) ASEAN地域との短期学生交流プログラムの実施
- (イ) 理工学研究科建築学専攻国際プロフェッショナルコース、シンガポール国立大学、チュラロンコン大学（タイ）が、本学アセアンセンターにて3大学共同デザインワークショップを開催

#### ウ グローバル人材育成推進事業（タイプB：特色型）（政治経済学部留学促進プログラム）

※ <http://meiji-seikei-ghrd.com/>

- (ア) 語学力や学術英語を身につけるためのプログラム「実践的英語力強化プログラム」の実施
- (イ) 「留学を絶対実現するための“TOEFL Summer Training”」、 「留学を本気で実現するための“春季TOEFL対策講座”」の開催
- (ウ) 「留学フェア」の開催

### (4) 協定校・協定機関の拡充

海外の大学等との協力・協定については、2014年度も積極的に新たな協定を締結し、2014年度までの協定校・協定機関数は、学部間等協定も含め、44カ国・地域、248大学・機関・部局等となりました。（昨年度比14大学・機関・部局等増）

### (5) 外国人留学生の受け入れ・学生の海外留学

2014年度、本学は1,179名（学部：827名、大学院352名）の外国人留学生を受け入れるとともに、本学からの送り出し海外留学生数は974名（長期：214名、短期：760名）となりました。

#### ア 留学生受け入れの推進

フランス・パリにて日本留学フェア「Study in Japan Fair in Paris 2014」を開催しました。日本に関心を持つ高校生や大学生、日本留学を希望する方々に、日本の大学における研究教育活動や入試制度、学生生活や奨学金に関する情報等を

幅広く提供すると同時に、留学実現に向けたステップ、日本の科学技術等に関するセミナーを行いました。

#### イ 送り出し海外留学生への支援

海外留学をめざしている学生を対象に、留学カウンセリング、語学スタディグループ、経済的支援、留学説明会・報告会など、多様な支援を実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/from/index.html>

#### (6) 遠隔授業の実施

2014年度から、アセアンセンターとの遠隔授業を開始しました。

アセアンセンターからは、生田キャンパスに向けて、「東南アジア理解講座（タイの言語と文化）」の講義を実施し、駿河台キャンパスからは、本学の海外協定校で同プログラムの協力大学でもあるシーナカリンウィロート大学(SWU)人文学部で日本語を学ぶ3年生の正規科目「JAPAN TODAY」の講義を実施しました。



#### (7) 外国人留学生等交流イベント

##### ア 「日本文化体験・交流会」の実施

国際教育センターでは外国人留学生を対象とした日本文化体験を実施しており、2014年度も「座禅会」、「茶道体験」、「明治中学校・高等学校交流会」等留学生のための様々なイベントを実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/support/event/index.html>

##### イ Cool Japan Summer Programの実施

国際連携機構は、海外在住の留学生を対象に、日本のマンガやアニメ・ゲーム・音楽といった「現代文化」とその系譜としての「伝統文化」、さらにはそれらを活用した「文化マネジメント」を幅広く学ぶ短期留学プログラム「Cool Japan Summer Program」を開講しました。今年で5回目となる同講座では、世界10カ国以上から学生22名が参加し、「オタク文化」「伝統文化」などの講義に加えて、アニメスタジオ見学などのフィールドトリップや「風呂敷包み体験」などのワークショップも実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/programs/cooljapan/index.html>

##### ウ 日本語短期研修プログラム（夏期・冬期）の実施

明治大学日本語教育センターは、夏と冬の2回にわたって「日本語短期研修プログラム」を開催しました。本プログラムは、①日本語授業、②見学・体験、③小旅行で構成され、本学の日本人学生がサポーターとして参加者を全面的にバックアップし、「活きた日本語」を使いながら交流を行いました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/programs/mjlp/index.html>

##### エ Meiji University Law in Japan Programの実施

法学部は、日本の法と法制度を英語で学ぶ夏期短期プログラム「Meiji University Law in Japan Program」を開催しました。イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、アメリカ、カナダ、中国、ブラジル、インド、インドネシア、シンガポール、台湾、モンゴルなど13カ国・地域の学生・社会人の21名、さらに同学部生3名の、計

24名が2週間集中的に日本の法を学びました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/cip/english/programs/law/index.html>

#### (8) 講演会、シンポジウム等の開催

ア エクアドル共和国貿易大臣 特別講演

イ 明治大学・中国社会科学院国際シンポジウム「日中金融自由化改革：そのリスクとチャンス」

ウ 明治大学国際交流基金事業講演会「スウェーデンの税制改革：社会保障と国際化への対応」

エ 明治大学招聘研究者講演会「中国における労働問題の現在～官製労働組合と労働NGOの動向を中心に～」

オ 短期留学の教育効果に係る国際ワークショップ

#### (9) 国際連携機構の充実

国際連携本部、国際教育センター、日本語教育センターからなる国際連携機構は、本学における国際化政策を一元的に推進していく機関であり、国際的な教育交流及び学術・研究交流を推進し、教育・研究分野の高度化を図るとともに、教育・研究を通じて広く国際貢献を果たすことを目的として設置されています。

国際連携本部に設置された国際連携運営会議の活用により、学部等間の連携・調整を図り、有機的かつ実効性のある取組みを推進しました。

## 8 社会貢献・連携・共同事業

### (1) 社会貢献を進めるために～社会連携機構

本学における教育研究活動を通じた地域連携活動の支援、生涯学習機会の提供等を推進することによって、地域社会の活性化及び社会の発展に寄与することを目的として設置されている機関が社会連携機構です。社会連携機構は、生涯教育の充実を図るリバティアカデミー及び地域連携を推進する地域連携推進センターから構成されています。

#### ア 生涯学習の拠点～リバティアカデミーの展開

リバティアカデミーは、公開講座を中心とした生涯教育及び資格取得等職業能力の再開発・向上を図るための教育活動の役割を担っています。2014年度も「本学の教育・研究成果」を継続的・体系的な公開教育プログラムとして産業社会や地域社会に提供し、大学の保有する様々な知的資産とその環境を広く市民に開放することを通して「開かれた大学」としての姿を追求してきました。駿河台、和泉、生田、中野キャンパス及び黒川農場の5拠点で、教養・文化、ビジネス、資格・実務、語学、特別企画等、年間400を超える講座を開設し、受講者数は21,000名を超えました。 ※ <https://academy.meiji.jp/>

#### イ 地域連携推進センターの展開

地域連携推進センターは、本学が国・地方公共団体、産業界、地域住民等からの幅広い要請に応え、地域社会と連携して地域人材の育成や地域課題の解決を図ることにより、本学における教育研究の発展と地域社会への貢献に寄与することを目的としています。2014年度も、創立者出身地3地域（鳥取県、山形県天童市、福

井県鯖江市) やキャンパス設置自治体をはじめ、様々な自治体等と連携して公開講座を開催するなど、地域活性化のための連携事業を展開しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/social/japan/chiikirenkei.html>

## ウ 学生参加の社会連携活動

### (ア) 学生派遣プログラムの実施

社会連携機構は、創立者3名の出身地・地域及び長野県野沢温泉村にて、地域の人々と交流・連携しながら地域活性化の提言を行う課題解決型学生派遣プログラムを実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/social/6t5h7p00000hdume.html>

※ <http://www.meiji.ac.jp/social/6t5h7p00000hfjgj.html>

### (イ) 秋の恒例行事～第8回お茶の水JAZZ祭の開催

このJAZZ祭は、本学と千代田区との連携事業の一つで、本学校友の宇崎竜童氏と本学学生等で組織される「明大町づくり道場」による「音楽を通じた町おこし活動」の柱となっています。2014年度も駿河台キャンパス・アカデミーホールで1,000人を超える観客を迎え、開催されました。

※ <http://www.jazzsai.com/>

## (2) 教育・研究の中核機関～図書館

### ア 4キャンパスの図書館

大学の教育・研究支援の中核機関であるとともに、生涯学習時代における社会貢献の拠点として活動を行っています。

2012年5月に開館した和泉新図書館は、2014年6月には来場者が延べ200万人を突破するとともに、第30回「日本図書館協会建築賞」を受賞しました。

※ <http://www.lib.meiji.ac.jp/>

### イ マンガ図書館

マンガ、アニメ等の資料を収集し、これを公開することを目的として設置し、米沢嘉博記念図書館（東京都千代田区猿楽町）及び現代マンガ図書館（東京都新宿区鶴巻町）をもって構成されています。2014年度も広く社会に公開（有料）するとともに、企画展やトークイベントなどを開催しました。

※ [http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa\\_lib/index.html](http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/index.html)

## (3) 観て学ぼう～博物館・資料館

### ア 博物館

本学の教育・研究成果を社会に還元する学内共同利用機関として、学内外の諸機関等と連携した展覧会、公開講座等多彩な教育・普及活動を展開しており、年間来館者は7万人を超えています。

2014年度はアカデミーコモン新博物館の開館10周年にあたり、特別企画や関連イベントが開催されました。その他、特別展「藩領と江戸藩邸～内藤家文書の描く磐城平・延岡・江戸～」や展覧会「有田焼-商品の伝統・進化・変容」等を開催しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/museum/index.html>

### イ 平和教育登戸研究所資料館



登戸研究所の研究施設であった建物の保存・活用を目的として設立された「平和教育登戸研究所資料館」は、登戸研究所という太平洋戦争に組した機関の行ったことがらを記録にとどめるとともに、本学における歴史教育・平和教育・科学教育の発信地をなし、平和に関する啓発と教育の推進を行いました。2014年度は開館5周年記念として講演会を実施したほか、企画展、イベント、見学会等を実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/noborito/index.html>

#### (4) 心の健康をケアします～心理臨床センター

心理臨床センターは、臨床心理学的諸問題に関わる相談・援助活動及び調査・研究を行うことにより、社会貢献を図るとともに、実習機関として臨床心理士の養成を行い、本学の教育・研究に資することを目的として設置されています。

2014年度も、一般の方への心の健康に関する悩み・相談、学校教員のサポートのほか、保育、家庭教育等についてのコンサルテーションも引き受けました。また、センター開設10周年にあたり、記念行事「子どもの声を聴くー子どもたちの今と心理療法ー」を実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/ccp/index.html>

#### (5) 震災復興支援センターの活動

2014年度は、震災の風化を防ぐことを新たな目途に加え、学生ボランティアによる東日本大震災における被災者支援を中心に、震災復興支援センターは様々な支援活動を行いました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/gakucho/reconstruction/index.html>

##### ア 東日本大震災復興支援ボランティア活動に伴う旅費交通費の一部助成金額の引き上げ

東日本大震災により被災した地域の復興を支援するボランティア活動が継続的に行われることを目的として実施している、学生ボランティア活動参加に伴う旅費交通費の一部助成金額を引き上げました。

##### イ 東北再生支援プラットフォームにおける活動

岩手県大船渡市、宮城県気仙沼市、福島県新地町とは復興支援に関する協定を締結しており、被災地の子供たちへの学習支援、キャンプ、学部間共通総合講座「東日本大震災『復興支援』ボランティア講座」の実習、セルフケア講習会などを実施しました。

##### ウ ホームカミングデーにおける「震災復興プロジェクト」・震災復興支援活動報告会

第18回ホームカミングデーにおいて、学生が被災地の物産販売、ボランティア支援活動報告及び写真展を実施し、本学学生の他、他大学生・一般の方が参加しました。

#### (6) 環境保全への取組みと環境教育

本学は、教育研究機関の社会的使命として、環境問題に対して常に高い関心を持ち、知的、道徳的及び実践的能力を備えた問題解決能力のある人材を育成、輩出することにより、環境改善の啓発活動を積極的に展開し、かつ自らも環境保全活動を実践し、社会において指導的な役割を果たしていかなければなりません。

2014年度も、環境保全に関わる教育活動の一環として、「ECO ACT MEIJI 明治大学環境展」を4キャンパスで開催しました。

## 9 認証評価制度への対応、自己点検・評価の実施

### (1) 認証評価

#### ア 大学評価

本学は2014年1月に公益財団法人大学基準協会に大学評価を申請し、書面での評価、実地調査を終え、2015年3月に「大学評価結果」を受領しました。判定結果は、「大学基準に適合」であり、これをもって学校教育法に定める認証評価機関による評価（認証評価）を受けたこととなります。指摘を受けた事項については、2015年3月4日開催の自己点検・評価全学委員会において「第3期改善アクションプラン（3カ年計画）」において計画的に改善を図ることを決定しており、その改善成果は、2018年7月までに大学基準協会に「改善報告書」として提出することとなります。認証の有効期間は2021年度（2022年3月31日）まで。

※ <http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/accreditation/index.html>

#### イ 専門職大学院認証評価

会計専門職研究科は、公益財団法人大学基準協会に、2014年度経営系専門職大学院認証評価を申請し、2015年3月に「認証評価結果」として「適合」の認定を受けました。認定の期間は、2019年度（2020年3月31日）まで。

また、ガバナンス研究科ガバナンス研究科は、2011年度公共政策系専門職大学院認証評価にて指摘を受けた事項について、2014年7月、公益財団法人大学基準協会に「改善報告書」を提出し、2015年3月に「改善報告書検討結果」を受けました。指摘された事項については次回認証評価申請時に改善状況を報告することとなります。

### (2) 自己点検・評価

2013年度自己点検・評価報告書は、各部門による自己点検・評価の結果に加え、「学修環境に関する学生アンケート」の分析結果や学長室IR（Institutional Research）ワーキンググループが構築したデータベースを活用し、全学的な視点から取りまとめ、自己点検・評価全学委員会委員長である学長から評価委員会委員長の理事長に2014年12月18日に提出されました。

同報告書の提出を受けて、2015年1月28日に学外有識者等も加わる評価委員会を開催し、教育・研究の水準と質の維持・向上を図るための多くの提言を行いました。その結果は「評価委員会による評価結果」として、報告書と同時にホームページに公開しています。

※ <http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/index.html>

## 10 入学試験関連

### (1) 2015年度入学試験志願状況

一般入学試験の志願者数は、一般選抜入学試験55,962人、全学部統一入学試験17,726人及び大学入学センター試験利用入学試験32,014人の合計10

5, 702人となり、9年連続で10万人を超えました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/exam/index.html>

## (2) イベント関係等

### ア オープンキャンパス2014～中野キャンパスで初の単独開催

受験生等に向けてキャンパスを開放し、大学生活の一端を体験してもらう「オープンキャンパス」を、駿河台・生田・中野の3キャンパスで8月に計6日間行い、延べ5万5千人の高校生やその保護者らが本学を訪れました。今回、初の単独開催となった中野キャンパスには約7千人が来場し、学部のガイダンスや模擬授業では立ち見が出るほどの盛況となりました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/exam/event/opencampus/index.html>

### イ 出張オープンキャンパス～明治大学フェスタ！の開催

2014年度も全国6都市（札幌・仙台・名古屋・大阪・広島・福岡）において、出張オープンキャンパス「明治大学フェスタ！」を開催し、入試説明会のほか、地元出身の現役明大生による相談コーナー等を設け、本学の魅力を伝えました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/exam/event/festa/index.html>

### ウ 「志願したい大学」6年連続1位に

リクルート進学総研が7月に発表した「高校生に聞いた大学ブランドランキング」で、本学が関東エリアの「志願したい大学」で6年連続1位を獲得しました。さらに、昨年に引き続き、男／女・文／理の4部門すべてで1位を独占しました。その他、「学びたい学部・学科がある」「学生生活が楽しめる」「親しみやすい」などのイメージ項目別ランキングでも栄えある1位を獲得しました。

## 1.1 卒業・修了の状況

本学は、130年を超える歴史と伝統の中で、創立以来52万人を超える卒業生を輩出してきました。

2014年度は、各学部の卒業生6,791名（うち9月卒業1,75名）、大学院の修了生は博士前期課程632名（うち9月卒業4名）、博士後期課程40名（うち9月卒業1名）、専門職学位課程263名（うち9月卒業44名）、高等学校・中学校の卒業生419名（高等学校257名、中学校162名）となりました。

## 1.2 学生支援

### (1) 奨学金の充実

将来の有為な人材として期待される学生をサポートするため、2014年度は、「明治大学私費外国人留学生特別助成金制度」及び「明治大学グローバル選抜助成金制度」を創設し、同規程を制定しました。

その他、災害に対する奨学金として、台風第8号、御嶽山噴火等の被災者への給費型奨学金による経済支援（明治大学災害時特別給費奨学金）や、東日本大震災で被災した2014年度新入生への経済支援を実施しました。

### (2) M-Naviプログラム（Meiji Navigation Program）の推進

学部や学科で学び身に付けていく「基礎学力」や「専門知識」に加えて、それらを

上手に活用していくための「力」(社会人基礎力)を身につけるためのナビゲーターの役割を果たす学生支援プログラムの一つです。

2014年度は、「新入生M-N a v i 合宿」、「神宮へ行こう(東京六大学野球観戦)」、「学食メニュー開発～食育プログラム～」、「観劇プログラム」、「農業体験」、「こころを開くじょうずな聞き方」、「おいしいお酒のたしなみ方」等のプログラムを実施しました。 ※ <http://www.meiji.ac.jp/campus/mnp/2014.html>

### (3) 社会に有用な人材になるために～ボランティアセンター (V C)

4キャンパスに設置されているボランティアセンターは、本学の学生に対するボランティア活動の支援を全学的に推進することにより、学生の社会性及び自主性を涵養して、社会に有用な人材を育成することを目的としています。

駿河台キャンパスでは「防災」、和泉キャンパスでは「福祉」、生田キャンパスでは「自然共有」、中野キャンパスでは「社会連携」をそれぞれテーマとし、学内・学外での活動、地域との交流、復興支援など、特色ある活動を展開しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/campus/volunteer/index.html>

ア 災害救護ボランティア講座(駿河台V C)

イ バリアフリー映画祭(和泉V C)

ウ 「飯館村までいカフェ」開催(福島県飯館村の皆さんを生明祭にご招待)  
(生田V C)

エ 中野キャンパス清掃活動ボランティア(中野V C)

### (4) 学生相談室の活動

相談内容は約3分の2が精神衛生に関わるものであるとともに、社会情勢の変化を反映して相談内容も多様化・複雑化していることから、学生相談機能の拡充を図っています。

「予防的カウンセリング」の観点から、講演会・各種体験プログラムなどの行事も開催しました。 ※ <http://www.meiji.ac.jp/soudan/index.html>

ア Yoga 体験!～ココロとカラダを整えよう～

イ 護身ビクス体験!～逃げるが勝ちのHAPPY EXERCISE～

ウ ランチアワー 留学生集まれ!

### (5) 観る人に感動を～スポーツ関係

#### ア 東京六大学野球秋季リーグで優勝

体育会硬式野球部は東京六大学野球秋季リーグで37回目となる優勝を飾りました。

#### イ 競走部・駅伝

(ア) 伊勢路を走る全日本大学駅伝対校選手権大会において、過去最高順位となる総合2位となるとともに、横手健選手(政経3)がMVP賞に選ばれました。

(イ) 箱根駅伝では、往路を64年ぶりの2位でゴールしました。総合成績では4位となったものの、合計タイムでは明大新記録を樹立しました。

#### ウ 輝かしい活躍



- (ア) 卓球部 3年ぶり8度目のグランドスラム達成（春季リーグ戦，全日本学生選手権，秋季リーグ戦の3大会すべて優勝）
- (イ) スケート部（アイスホッケー部門） 20年ぶり3冠達成（関東大学選手権，関東大学リーグ戦，日本学生氷上競技選手権の3大会すべて優勝）
- (ウ) 拳法部 全日本学生拳法選手権大会 優勝
- (エ) 端艇部 全日本軽量級選手権「女子舵手なしクォドルプル」優勝
- (オ) 柔道部 上田轄麻選手（政経3）全日本学生体重別選手権 100キロ超級優勝
- (カ) 水泳部 小日向一輝選手（商2）パンパシフィック大会 男子200m 平泳ぎ 銅メダル
- (キ) フェンシング部 古俣潮里選手（政経1）JOCジュニア・オリンピック・カップ 女子エペ個人 優勝

## (6) 就職・キャリア形成をバックアップ

### ア 就職キャリア支援センター

本学の学生に対する就職支援及びキャリア形成支援を推進することにより，学生の職業観及び職業に関する知識・技能を涵養して主体的に進路を選択できる能力の育成を図り，社会に有用な人材を輩出することを目的としています。

2014年度も「就職・進路ガイダンス」，「エントリーシート対策講座」，「就職活動体験報告会」，「各種業界研究会」等を実施しました。

※ <http://www.meiji.ac.jp/shushoku/index.html>

#### (ア)「企業と大学との就職懇談会」の開催

駿河台キャンパスのアカデミーコモンにおいて，理事長，学長をはじめとする大学役員・役職者，各学部・大学院の就職担当教員が企業の採用担当者と情報交換を行う「企業と大学との就職懇談会」を開催しました。企業側からは468社の採用担当者，本学からは110人の関係者が出席し，本学側から教育内容や就職支援の現状について，企業側からは採用状況や採用意欲などの情報を交換することで互いの連携を深めました。

#### (イ) 多様なセミナーの開催

##### a 隠れ優良企業発見セミナー

企業を探すにあたって大手企業ばかりに目を向けるのではなく，私たちの周りにたくさんある実は力を持っている中堅・中小企業「隠れ優良企業」の探し方について講演を行いました。

##### b 公務員仕事研究セミナー

一括りにできない「公務員」の仕事の多様な業務内容や取組みについて，さまざまな官公庁で活躍されている現役の公務員の方々が講演を行いました。

### イ 大学院「キャリアサポートプログラム」

2014年度から，大学院生に特化した「キャリアサポートプログラム」を開始しました。このプログラムでは，研究職を志望する大学院学生への支援（研究職支援）と，特に博士前期・修士課程学生に対する民間企業や公務員採用試験などの就職活動に対する支援（非研究職支援）に大別し，企画を実施しています。2014

年度は、説明会、相談会のほか、研究資金獲得セミナーやプレゼンテーションセミナーなどを開催しました。

※ [http://www.meiji.ac.jp/dai\\_in/career/index.html](http://www.meiji.ac.jp/dai_in/career/index.html)

#### ウ 留学生への就職サポート

本学では、日本国内で就職を希望する留学生に特化した就職支援を手厚く行っています。2014年度も、日本での就職活動の基本的な進め方をレクチャーする「就職・進路ガイダンス」をはじめ、「筆記試験対策講座」、「エントリーシート対策講座」、「OB・OGおよび内定者との交流会」などを開催しました。6月には、約15の中小企業が駿河台キャンパスを訪れ、外国人留学生に対し、会社説明会から面接までを行う「オンキャンパス面接会」を開催しました。

#### エ 父母対象の就職懇談会を開催

首都圏11地区の父母会は合同で、学部3年生の父母を対象に就職懇談会を10月に開催しました。父母約1,400人が参加した懇談会では、父母の不安を取り除き、子息・子女への効果的な支援とコミュニケーションを促すために、本学の就職支援体制の説明、専門家による講演会、内定者（4年生）によるパネルディスカッションが行われました。

### 1.3 付属高等学校・中学校

#### (1) 国際教育の推進

##### ア 国際交流研修の実施～中国・上海市建平中学

本校の高校生12名が、協定校である中国・上海市建平中学（日本の高等学校に相当）を訪問し、歴史講座、文化体験、現地生徒との交流等を行いました。本研修は、両校の交流・発展の促進を目的に締結した友好交流協定（2011年締結）に基づき実施され、今回で2回目の研修となりました。参加生徒には、中国人生徒との交流や中国文化の体験を通じ、国際的視野を拓き、今後の活躍につながることを大いに期待されます。

##### イ 夏期語学研修の実施～カナダ・バンクーバー

夏休みを利用した海外語学研修として、カナダ・バンクーバーのブリティッシュ・コロンビア大学キャンパスを拠点に、現地ボドウェル高校主催のプログラムが開催され、中学生1名、高校生34名が、2週間または3週間のコースに参加しました。

##### ウ 「スピーチコンテスト」「イングリッシュ・プレゼンテーション」を開催

2014年度も、英語による「スピーチコンテスト」及びパワーポイントを使った「イングリッシュ・プレゼンテーション」を開催しました。これらの行事では、英語による発信力強化を図るとともに入賞者は、「鶴澤総明教育振興・奨学金プログラム」奨学金の受給及び海外文化体験プログラム参加費免除となります。

#### (2) 高大連携の推進

※ [http://www.meiji.ac.jp/ko\\_chu/feature/kodai.html](http://www.meiji.ac.jp/ko_chu/feature/kodai.html)

##### ア 高大連携講座

明治大学進学後、スムーズに講義を受講できるよう、明治大学各学部の基礎的な内容を、高3生徒に対して毎週2時間、明治大学の教員が調布キャンパスで年間を

通して授業を実施しました。

#### イ プレカレッジプログラム

高校在学中（高2・3年生対象）に明治大学の授業の一部を受講し、修得した単位が、明治大学入学後に学部卒業要件単位として認定される制度を2014年度も実施しました。

#### ウ サマーセミナー、スプリングセミナー、ウィンターセミナー

明治大学と連携し、資格の取得、英語力の向上、進路決定の参考等の目的で、夏休み、春休み及び高3の最終学期の集中講座として、明治大学の各キャンパスや本校で実施しました。

#### エ 高大連携ブリッジ講座

高3の最終学期に、付属校教育の最大の特色の一つとして、高校と大学の学問領域の架け橋を目的とする選択必修講座を開講しました。

#### (3) 「東日本大震災被災地支援事業」ボランティア活動

2015年1月に、「第3回明治大学附属明治高校プレミアカップ・第7回石巻日日新聞杯」を宮城県女川町多目的運動場で開催し、被災地訪問を行いました。石巻地方のサッカースポーツ少年団から13チームが参加。本校サッカー部員10名が大会運営、公募の17名の生徒は、お汁粉を振る舞うなど、選手、家族、仮設住宅の入居者らと交流を深めました。

#### (4) 「卒業生顕彰式」を挙行

この表彰式は、本校を卒業後、学術・文化・スポーツなどの分野で活躍し、優秀な成果を収めた卒業生を称え、今後一層の活躍を奨励するとともに、在校生の模範となるよう顕彰するもので、明治大学の学部長奨励賞を受賞した現役明大生や、司法試験・公認会計士試験の合格者など卒業生28名を表彰しました。

#### (5) 研修制度の拡充

2014年度から、教員としての能力向上を図るため、大学院在学研修制度を設置しました。本校教員が大学院修士課程、博士前期課程または専門職学位課程において修学し、専修免許状取得を目指しています。

以上

# 参考資料

## (1) 海外協定校一覧

	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	中国	中国人民大学	○	
2		延辺大学	○	
3		華東師範大学	○	
4		清華大学		
5		深圳大学	○	
6		厦門大学	○	
7		上海交通大学	○	
8		中央財經大学	○	
9		雲南農業大学		
10		遼寧大学	○	
11		雲南民族大学		
12		内蒙古工業大学	○	
13		大連外国語学院	○	
14		雲南大学	○	
15		北京大学	○	
16		蘇州大学	○	
17		南京大学	○	
18		中国社会科学院		
19		東華大学		
20		上海對外經貿大学		
21		南京財經大学		
22		中央民族大学	○	
23		大連海事大学		
24		香港中文大学	○	
25	韓国	梨花女子大学	○	
26		高麗大学	○	
27		国立忠北大学	○	
28		同徳女子大学	○	
29		国立慶北大学		
30		仁荷大学	○	
31		大邱大学	○	
32		淑明女子大学	○	
33		慶尚大学	○	
34		西江大学	○	
35		延世大学		学生交流は政治経済学部のみ実施
36		嶺南大学	○	
37		中央大学		
38		大田大学	○	
39		全北大学		学生交流は情報コミュニケーション学部のみ実施
40		慶熙大学	○	
41		漢陽大学	○	
42		濟州大学	○	
43		崇実大学	○	
44		台湾	国立台湾大学	○
45	中国文化大学		○	
46	虎尾科技大学		○	
47	国立台北大学		○	
48	国立嘉義大学		○	
49	中原大学			
50	国立屏東科技大学			
51	南台科技大学			
52	国立高雄応用科技大学		○	
53	環球科技大学			
54	淡江大学			
55	国立交通大学			



	国名	協定大学名	学生交流	備考
56	ベトナム	ハノイ大学		
57		ハノイ貿易大学	○	
58		ハノイ大学	○	
59		ホーチミン市国家大学人文社会科学大学		
60		ハノイ国家大学外国語大学	○	
61		ハノイ国家大学人文社会科学大学		
62	ラオス	ラオス国立大学		
63	マレーシア	マレーシア工科大学	○	
64		マレーシア科学大学	○	
65		マラヤ大学	○	
66		マレーシア・サラワク大学	○	
67		ペトロナス工科大学	○	
68		マレーシア・サバ大学		
69	シンガポール	シンガポール経営大学	○	
70	タイ	モンクット王ラカバン工科大学	○	
71		チュラロンコン大学		学生交流は理工学部, 政治経済学部のみ実施
72		シーナカリンウィロート大学		学生交流は政治経済学部, 情報コミュニケーション学部, 経営学部, 農学部のみ実施
73		プリンスオブソンクラー大学		学生交流は政治経済学部のみ実施
74		泰日工業大学		
75		チェンマイ大学		学生交流は政治経済学部のみ実施
76	インドネシア	バンドン工科大学	○	
77		インドネシア大学		
78		ガジャマダ大学	○	
79	フィリピン	フィリピン大学デリマン校	○	
80		アテネオ・デ・マニラ大学		
81		デ・ラ・サール大学		
82	インド	インド科学院大学	○	
83		インド統計大学		
84	モンゴル	モンゴル国立大学		
85	豪州	西シドニー大学	○	
86		サンシャインコースト大学	○	
87		ニューサウスウェールズ大学	○	
88		南オーストラリア大学		
89		クイーンズランド工科大学	○	
90		アデレード大学	○	
91		マッコーリー大学	○	
92	サウジアラビア	アブドゥルアジズ国王大学		
93	トルコ	中東工科大学	○	
94		ボアジチ大学(ボスボラス大学)		
95	タンザニア	ダルエスサラーム大学		
96	英国	シェフィールド大学	○	
97		ケンブリッジ大学ヒューズ・ホール・カレッジ		
98		ヨーク・セント・ジョン大学		
99		ロンドン大学クイーン・メアリー・カレッジ		
100		マンチェスター大学 人文科学部	○	
101		オックスフォード大学ハートフォード校		学生交流は国際日本学部のみ実施
102		バーミンガム大学		
103		ブライトン大学		
104		イースト・アングリア大学	○	
105		イーストロンドン大学		
106		ロンドン大学東洋アフリカ研究学院(SOAS)	○	
107	ドイツ	フリードリヒ・シラー大学(イエーナ大学)	○	
108		ツェッペリン大学		
109		ジーゲン大学	○	
110		パッサウ大学	○	
111		ハインリッヒ・ハイネ大学(デュッセルドルフ大学)	○	

	国名	協定大学名	学生交流	備考
112	フランス	ランス大学	○	
113		パリ第1大学(パンテオン・ソルボンヌ)		
114		パリ第9大学(ドフィース)		
115		トゥールーズ第1社会科学大学	○	
116		フランス国立東洋言語文化研究学院(INALCO)	○	
117		リヨン第3大学	○	
118		ヴェルサイユ大学	○	
119		パリ第3大学(ソルボンヌ・ヌーベル)	○	
120		エクス・マルセイユ大学(旧プロヴァンス大学)	○	
121		パリ・デイドロ大学(パリ第7大学)	○	
122		モダール・インターナショナル学院		
123		リヨン政治学院	○	
124		ジョセフ・フーリエ大学		
125		ストラスブール大学	○	
126		オーストリア	ウィーン大学	○
127	スウェーデン	リンシェーピン大学	○	
128		セーデルトーン大学	○	
129	スイス	チューリッヒ大学	○	
130	イタリア	シエナ大学	○	
131		ヴェネツィア大学	○	
132		ミラノ大学	○	
133		フィレンツェ大学		
134		シエナ外国人大学	○	
135		国際連合食糧農業機関(FAO)		
136	スペイン	アリカンテ大学		
137		ロビーラ・イ・ビルジリ大学		
138		バレンシア大学	○	
139		モンドラゴン大学		
140		サラマンカ大学	○	
141	ギリシャ	クレタ大学		
142	ベルギー	ルーヴェン・カトリック大学		
143	ロシア	プレハーノフ経済大学	○	
144		クラスノヤルスク教育大学	○	
145		国立経営大学	○	
146		モスクワ国立大学	○	
147		サンクトペテルブルク国立工学・経済大学		
148		サンクトペテルブルク国立サービス・経済大学		
149		モスクワ国際関係大学		
150		ロシア国立研究大学高等経済学院		
151	オムスク国立大学			
152	ハンガリー	エトヴェシュ・ロラード大学	○	
153	ポーランド	ウッジ大学	○	
154		ポズナン経済大学		
155	リトアニア	ヴィータウタス・マグヌス大学		
156	ルーマニア	ブカレスト大学	○	
157	ブルガリア	ソフィア大学	○	
158	セルビア	ベオグラード大学	○	
159	ボスニア・ヘルツェゴビナ	サラエボ大学		
160		バニャルカ大学		
161	ノルウェー	リレハンメル大学	○	
162	ウクライナ	キエフ国立大学		
163	オランダ	ライデン大学	○	

	国名	協定大学名	学生交流	備考
164	米国	オレゴン大学	○	
165		アイオワ大学	○	
166		サザンイリノイ大学カーボンデール校	○	
167		SUNYニューパルツ校	○	
168		アラバマ大学	○	
169		ミズーリ州立大学	○	
170		カンザス大学		
171		ノースイースタン大学	○	
172		インディアナ大学・パーデュー大学インディアナポリス校		
173		フロリダ州立大学		
174		南カリフォルニア大学		
175		メンフィス大学	○	
176		カリフォルニア大学バークレー校		
177		テンプル大学	○	
178		カリフォルニア大学デービス校		
179		南ユタ大学	○	
180		ラトガース大学		
181		ニューヨーク州立大学バッファロー校	○	
182		カリフォルニア州立大学フラトン校		
183		ネブラスカ大学オマハ校	○	
184		北テキサス大学		
185		ミネソタ州立大学モアヘッド校		
186		ペンシルベニア州立大学 教養学部	○	
187		ジョージア大学	○	
188	カナダ	ヨーク大学	○	
189		アルバータ大学	○	
190		ヴィクトリア大学		学生交流は経営学部のみ実施
191		モントリオール大学	○	
192		マクマスター大学		
193		ユークン・カレッジ		
194		ラヴァル大学		
195	メキシコ	メキシコ国立自治大学	○	
196		グアナフアト大学	○	
197	ブラジル	FAAP - アルマンド・アルバレス・ペンチアード大学	○	
198		サンパウロ大学		
199	アルゼンチン	ラプラタ国立大学	○	

計 199大学

学部間等協定校					
	国名	協定大学名	学生交流	備考	
1	中国	北京師範大学 歴史学院	○	文学部	
2		中山大學 国際商学院	○	経営学部	
3		対外経済貿易学院 国際商学院	○	経営学部	
4		西南交通大学 行政学部	○	政治経済学部	
5		南京師範大学法学院	○	法学部 法学研究科 法科大学院	
6		香港城市大学 商学院	○	経営学部	
7		香港城市大学 人文社会学部	○	情報コミュニケーション学部	
8		韓国	高麗大学	○	文学部
9			ソウル大学 経営学部	○	経営学部
10			又松大学 経営大学院	○	経営学研究科
11			韓国刑事政策研究院		法学研究科
12			成均館大学 芸術学部・芸術学研究科	○	情報コミュニケーション学部 情報コミュニケーション研究科

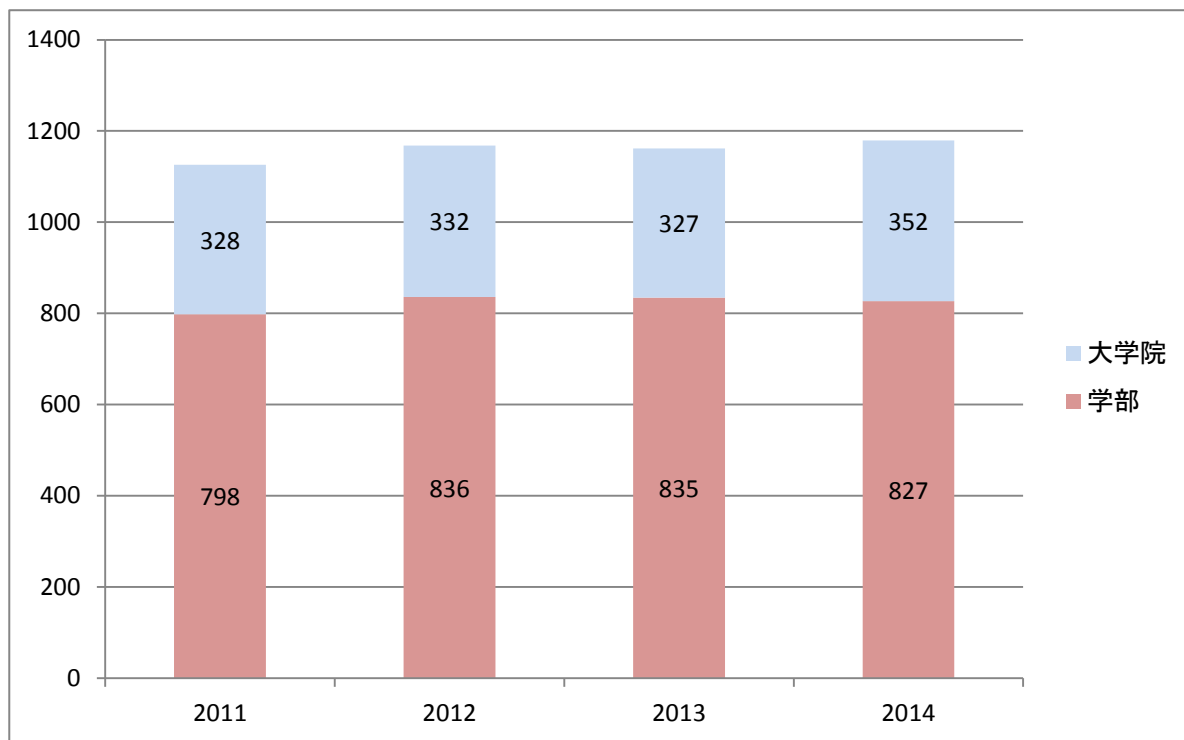
	国名	協定大学名	学生交流	備考
13	台湾	国立台湾大学 農学経済学部		農学部
14		国立台湾大学 法律学院	○	法学研究科
15		国立台湾科技大学 設計学院		理工学部
16		弘光科技大学 工学部	○	理工学部
17		国立台北科技大学 機械電気工学部		理工学部
18	ベトナム	ホーチミン市国立大学自分社会学大学	○	政治経済学部
19	シンガポール	シンガポール国立大学 設計・環境学部	○	理工学部
20		南洋理工大学 人文社会科学部	○	政治経済学部
21	タイ	モンクット王ラカバン工科大学	○	政治経済学部
22		キングモンクット工科大学トンプリ校 生物資源工学部		農学部
23		カセサート大学カンペンセン校 農学部	○	農学部
24		タマサート大学 政治学部	○	政治経済学部
25		チェンマイラジャパット大学農業技術学部		農学部
26	インドネシア	ペトラクリスチャン大学	○	政治経済学部
27	フィリピン	ヌエバ・ビスカヤ州立大学 農学部		農学部
28	南アフリカ	ケープタウン大学 工学・建築環境学部		理工学部
29	英国	カーディフビジネススクール, カーディフ大学	○	商学部
30		オックスフォード大学ハートフォード校	○	国際日本学部
31	ドイツ	ブレーメン州立経済工科大学	○	商学部
32		ビーレフェルト大学 言語学および文学部	○	文学部
33		バンベルク大学 人文学部	○	文学部
34		オスナブリュック応用科学大学 経営管理・社会科学部	○	経営学部
			○	経営学研究科
35	ヴッパータール大学	○	理工学部	
36	フランス	レンヌ商科大学	○	商学部
37		パリ商業高等大学	○	商学部
38		フランスビジネススクール	○	経営学部
39		パリ国立建築大学ラヴイレット校	○	理工学部
40		IPAGビジネススクール	○	経営学部
41		レンヌ第一大学 経営学院	○	経営学研究科
42		オーデンシア・ナント経営学院	○	経営学研究科
43		パリカトリック大学 パリ電子工学院	○	理工学部
44	スペイン	IE大学	○	経営学部
45	ベルギー	ゲント大学 生物科学工学部		農学部
46	フィンランド	東フィンランド大学社会科学・ビジネス学部	○	政治経済学部
47	オランダ	ロッテルダム応用科学大学 ロッテルダムビジネススクール	○	政治経済学部
48	米国	オレゴン大学 建築・芸術学部	○	理工学部
49		インディアナ大学・パーデュー大学インディアナポリス校	○	国際日本学部
50		フロリダ州立大学		国際日本学部
51		アイオワ州立大学 農学・生命科学部		農学部
52		ハワイ大学マノア校 熱帯農業人的資源学部(CTAHR)	○	農学部
53		ハワイ大学マノア校 アウトリーチカレッジ	○	国際日本学部
54		テンプル大学 教養学部	○	政治経済学部
55		デューク大学 大学院及びアジア太平洋研究所	○	政治経済学研究科
56		ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ	○	国際日本学部
57		ワシントン大学 建造環境学部	○	理工学部
58	カナダ	サスカチュワン大学 農学・生物資源学部		農学部

計 58大学

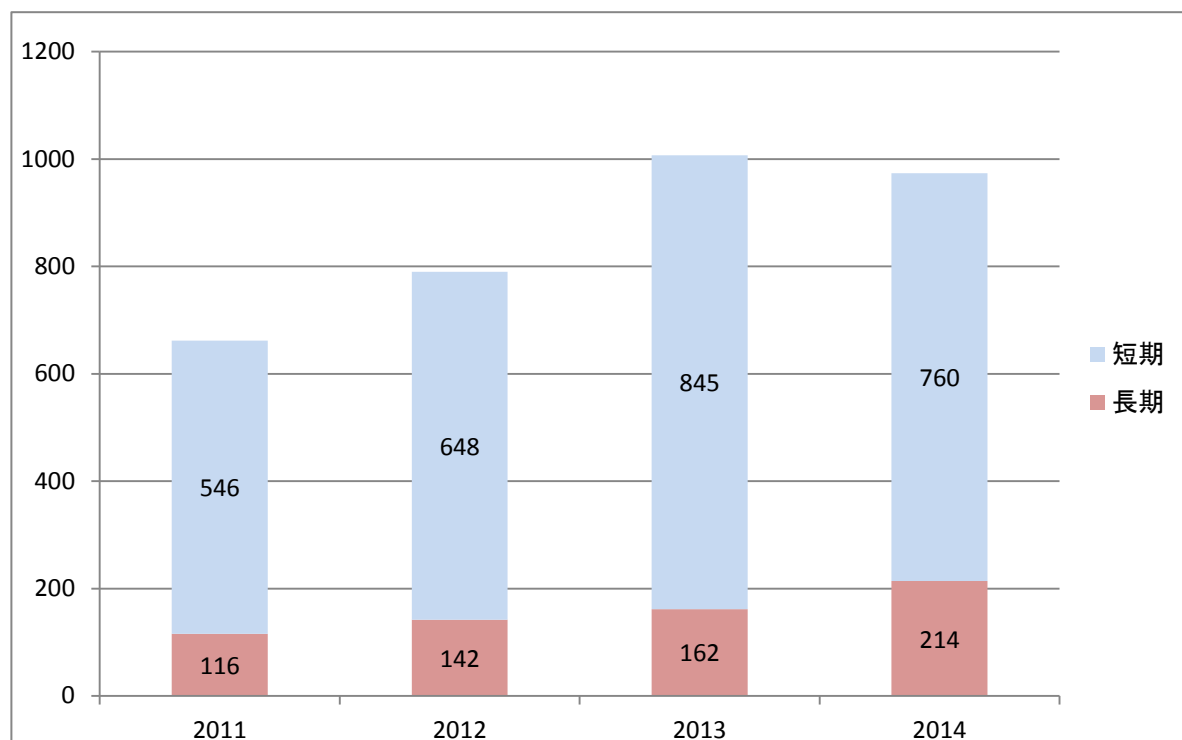
その他部局間(研究所間)協定校				
	国名	協定大学名	学生交流	備考
1	台湾	国立交通大学 数学建模科学計算研究所 (IMMSC)		先端数理科学インスティテュート
2	ベトナム	ベトナム・ハノイ数学研究所 (IMVAST)		先端数理科学インスティテュート
3	英国	オックスフォード大学数理生物学センター (CMB)		先端数理科学インスティテュート
4	フランス	フランス国立社会科学高等研究院社会数理解析センター (CAMS)		先端数理科学インスティテュート
5		フランス国立科学研究センター(CNRS)		先端数理科学インスティテュート
6	イタリア	イタリアCNR応用数学研究所 (IAC)		先端数理科学インスティテュート
7	スペイン	マドリード・コンプルテンセ大学 学際数学研究所 (IMI)		先端数理科学インスティテュート
8	ロシア	ロシア科学アカデミー極東支部極東地質学研究所		黒耀石研究センター
				計 8大学

## (2)外国人受入留学生数及び海外派遣留学生数

### ①外国人受入留学生数（各年度5月1日現在）



### ②海外派遣留学生数（各年度3月31日現在）



### (3)2015年度一般入学試験結果

#### ①一般選抜入試結果

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			満点	合格最低点	合格最低得点率	競争率 受験者/合格者		
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子						
法学部	350	3,718	2,587	1,131	3,156	2,188	968	1,041	710	331	350	233	66.6	3.0		
商学部	450	7,231	5,172	2,059	6,338	4,555	1,783	1,481	1,096	385	350	241	68.9	4.3		
政治経済学部	政治学	110	1,473	1,083	390	1,343	992	351	521	379	142	350	230	65.7	2.6	
	経済学	300	3,888	3,259	629	3,602	3,027	575	1,160	969	191	350	228	65.1	3.1	
	地域行政学	70	932	673	259	900	648	252	215	157	58	350	226	64.6	4.2	
	計	480	6,293	5,015	1,278	5,845	4,667	1,178	1,896	1,505	391				3.1	
文学部	文学	日本文学	65	962	393	569	835	343	492	189	72	117	300	211	70.3	4.4
		英米文学	62	838	360	478	729	316	413	211	89	122	300	206	68.7	3.5
		ドイツ文学	18	216	57	159	176	46	130	63	21	42	300	202	67.3	2.8
		フランス文学	21	230	72	158	198	65	133	70	20	50	300	201	67.0	2.8
		演劇学	26	381	108	273	347	99	248	72	17	55	300	208	69.3	4.8
		文芸メディア	36	686	254	432	607	218	389	136	51	85	300	215	71.7	4.5
	史学地理学科	日本史学	45	835	502	333	745	453	292	150	100	50	300	218	72.7	5.0
		アジア史	18	173	98	75	136	75	61	60	34	26	300	204	68.0	2.3
		西洋史学	29	458	264	194	390	228	162	116	70	46	300	219	73.0	3.4
		考古学	22	198	124	74	160	98	62	53	34	19	300	202	67.3	3.0
		地理学	26	269	202	67	227	172	55	61	50	11	300	202	67.3	3.7
	心理社会学科	臨床心理学	22	536	199	337	467	167	300	82	24	58	300	213	71.0	5.7
		現代社会学	23	414	194	220	353	171	182	71	27	44	300	214	71.3	5.0
		計	413	6,196	2,827	3,369	5,370	2,451	2,919	1,334	609	725				4.0
理工学部	電気電子生命学科	電気電子工学	82	1,059	981	78	1,022	949	73	371	345	26	360	216	60.0	2.8
		生命理工学	26	386	290	96	371	281	90	118	85	33	360	231	64.2	3.1
	機械工学科	65	2,031	1,908	123	1,972	1,854	118	472	428	44	360	242	67.2	4.2	
	機械情報工学科	61	699	644	55	677	624	53	205	187	18	360	224	62.2	3.3	
	建築学	80	1,750	1,313	437	1,676	1,256	420	282	193	89	360	247	68.6	5.9	
	応用化学	50	1,779	1,325	454	1,708	1,279	429	402	298	104	360	250	69.4	4.2	
	情報科学	56	1,414	1,262	152	1,359	1,215	144	279	250	29	360	238	66.1	4.9	
	数学	30	548	462	86	528	447	81	155	128	27	360	229	63.6	3.4	
物理学	30	866	755	111	836	730	106	303	272	31	360	238	66.1	2.8		
計	480	10,532	8,940	1,592	10,149	8,635	1,514	2,587	2,186	401				3.9		
農学部	農学	77	1,618	1,066	552	1,445	967	478	259	170	89	300	214	71.3	5.6	
	農芸化学	77	1,302	524	778	1,159	480	679	208	71	137	300	211	70.3	5.6	
	生命科学	82	1,767	1,059	708	1,536	921	615	317	194	123	300	213	71.0	4.8	
	食料環境政策学	70	1,130	681	449	1,025	626	399	214	127	87	300	209	69.7	4.8	
計	306	5,817	3,330	2,487	5,165	2,994	2,171	998	562	436				5.2		
経営学部	経営学	310	6,408	4,627	1,781	6,184	4,451	1,733	1,396	991	405	350	227	64.9	4.4	
	会計学	310	6,408	4,627	1,781	6,184	4,451	1,733	1,396	991	405	350	227	64.9	4.4	
情報コミュニケーション学部	A方式 情報コミュニケーション学	310	4,250	2,291	1,959	4,149	2,237	1,912	903	482	421	300	175	58.3	4.6	
	B方式 情報コミュニケーション学	20	77	66	11	73	62	11	25	22	3	300	197	65.7	2.9	
計	330	4,327	2,357	1,970	4,222	2,299	1,923	928	504	424				4.5		
国際日本学部	国際日本学	180	3,374	1,161	2,213	3,301	1,134	2,167	779	253	526	450	298	66.2	4.2	
総合数理学部	現象数理学	34	649	538	111	564	474	90	99	88	11	320	222	69.4	5.7	
	先端メディアサイエンス学	40	907	668	239	795	599	196	98	77	21	320	227	70.9	8.1	
	ネットワークデザイン学	30	510	425	85	431	356	75	68	57	11	320	205	64.1	6.3	
計	104	2,066	1,631	435	1,790	1,429	361	265	222	43				6.8		
一般選抜入学試験 合計		3,403	55,962	37,647	18,315	51,520	34,803	16,717	12,705	8,638	4,067				4.1	

②全学部統一入学試験結果

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			満点	合格最低点	合格最低得点率	競争率 受験者/合格者		
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子						
法学部	100	1,933	1,322	611	1,868	1,277	591	448	326	122	300	216	72.0	4.2		
商学部	60	1,960	1,264	696	1,917	1,237	680	247	168	79	450	331	73.6	7.8		
政治経済学部	政治学	10	186	134	52	109	79	30	42	27	15	450	317	70.4	2.6	
	経済学	25	670	541	129	525	424	101	168	136	32	450	315	70.0	3.1	
	地域行政学	10	148	104	44	104	74	30	24	16	8	450	310	68.9	4.3	
	計	45	1,004	779	225	738	577	161	234	179	55				3.2	
文学部	文学科	日本文学	12	368	154	214	355	148	207	73	24	49	300	208	69.3	4.9
		英米文学	15	415	160	255	405	154	251	121	50	71	300	203	67.7	3.3
		ドイツ文学	3	64	21	43	63	20	43	17	6	11	300	199	66.3	3.7
		フランス文学	4	105	26	79	103	25	78	34	8	26	300	198	66.0	3.0
		演劇学	4	190	50	140	188	50	138	31	11	20	300	208	69.3	6.1
		文芸メディア	5	345	134	211	341	132	209	47	23	24	300	220	73.3	7.3
	史学地理学科	日本史学	9	300	191	109	293	186	107	70	46	24	300	218	72.7	4.2
		アジア史	4	103	57	46	102	57	45	41	24	17	300	207	69.0	2.5
		西洋史学	6	179	106	73	177	105	72	46	35	11	300	212	70.7	3.8
		考古学	4	113	67	46	111	67	44	36	23	13	300	202	67.3	3.1
		地理学	6	146	108	38	139	103	36	49	35	14	300	203	67.7	2.8
	心理社会学科	臨床心理学	8	282	102	180	275	100	175	55	27	28	300	211	70.3	5.0
		現代社会学	8	288	118	170	280	114	166	69	32	37	300	209	69.7	4.1
		計	88	2,898	1,294	1,604	2,832	1,261	1,571	689	344	345				4.1
理工学部	電気電子生命学科	電気電子工学	18	335	302	33	323	291	32	99	87	12	400	281	70.3	3.3
		生命理工学	8	169	132	37	156	124	32	41	30	11	400	288	72.0	3.8
	機械工学科	10	461	428	33	422	394	28	118	109	9	400	293	73.3	3.6	
	機械情報工学科	10	244	224	20	231	212	19	62	59	3	400	277	69.3	3.7	
	建築学	15	522	367	155	485	340	145	70	50	20	400	304	76.0	6.9	
	応用化学科	9	420	318	102	387	294	93	89	65	24	400	298	74.5	4.3	
	情報科学科	7	393	342	51	369	321	48	59	52	7	400	296	74.0	6.3	
	数学科	4	184	159	25	178	154	24	46	42	4	400	294	73.5	3.9	
物理学科	4	148	124	24	135	113	22	41	32	9	400	290	72.5	3.3		
計	85	2,876	2,396	480	2,686	2,243	443	625	526	99				4.3		
農学部	農学	15	488	318	170	462	300	162	75	50	25	300	235	78.3	6.2	
	農芸化学	15	434	171	263	418	163	255	51	14	37	300	230	76.7	8.2	
	生命科学	10	472	279	193	447	262	185	53	33	20	300	241	80.3	8.4	
	食料環境政策学	10	440	249	191	425	239	186	50	30	20	300	221	73.7	8.5	
計	50	1,834	1,017	817	1,752	964	788	229	127	102				7.7		
経営学部	経営学	30	1,737	1,180	557	1,706	1,162	544	252	186	66	350	250	71.4	6.8	
	公共経営学	30	1,737	1,180	557	1,706	1,162	544	252	186	66	350	250	71.4	6.8	
情報コミュニケーション学部	情報コミュニケーション学	20	1,359	644	715	1,329	625	704	172	89	83	350	247	70.6	7.7	
国際日本学部	国際日本学	28	1,126	371	755	1,101	359	742	141	60	81	400	285	71.3	7.8	
総合数理学部	3科目方式	現象数理学	6	65	50	15	55	42	13	15	12	3	400	300	75.0	3.7
		先端メディアサイエンス学	10	108	64	44	93	51	42	16	10	6	400	274	68.5	5.8
		ネットワークデザイン学	5	41	29	12	35	23	12	7	4	3	400	269	67.3	5.0
	4科目方式	現象数理学	13	218	177	41	213	173	40	46	40	6	500	355	71.0	4.6
		先端メディアサイエンス学	16	412	303	109	398	291	107	61	39	22	500	363	72.6	6.5
		ネットワークデザイン学	14	155	128	27	146	121	25	52	42	10	500	319	63.8	2.8
計	64	999	751	248	940	701	239	197	147	50				4.8		
全学部統一入学試験 合計		570	17,726	11,018	6,708	16,869	10,406	6,463	3,234	2,152	1,082				5.2	

全学部統一入学試験



### ③大学入試センター試験利用入学試験結果

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数			受験者数			合格者数			競争率 受験者/合格者			
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子				
法学部	3科目方式	法 律 学 科	50	2,332	1,527	805	2,325	1,520	805	454	278	176	5.1	
	4科目方式	法 律 学 科	40	1,025	681	344	1,022	679	343	406	266	140	2.5	
	5科目方式	法 律 学 科	30	814	569	245	813	569	244	478	335	143	1.7	
	計		120	4,171	2,777	1,394	4,160	2,768	1,392	1,338	879	459	3.1	
商学部	3科目方式	商 学 科	50	1,818	1,204	614	1,814	1,201	613	166	86	80	10.9	
	4科目方式	商 学 科	40	930	646	284	927	644	283	195	137	58	4.8	
	6科目方式	商 学 科	15	412	313	99	307	239	68	83	62	21	3.7	
	計		105	3,160	2,163	997	3,048	2,084	964	444	285	159	6.9	
政治経済学部	3科目方式	政 治 学 科	10	509	364	145	509	364	145	88	48	40	5.8	
		経 済 学 科	20	1,039	819	220	1,035	816	219	141	95	46	7.3	
	7科目方式	政 治 学 科	15	499	329	170	497	328	169	338	218	120	1.5	
		経 済 学 科	50	1,872	1,515	357	1,848	1,496	352	1,100	878	222	1.7	
		地 域 行 政 学 科	15	339	237	102	336	236	100	124	89	35	2.7	
計		110	4,258	3,264	994	4,225	3,240	985	1,791	1,328	463	2.4		
文学部	3科目方式	文 学 科	日 本 文 学	6	500	207	293	500	207	293	123	51	72	4.1
			英 米 文 学	6	419	166	253	419	166	253	118	41	77	3.6
			ドイ ツ 文 学	2	166	49	117	163	47	116	56	16	40	2.9
			フ ラ ン ス 文 学	2	136	34	102	135	33	102	43	8	35	3.1
			演 劇 学	3	224	55	169	224	55	169	41	8	33	5.5
			文 芸 メ デ ィ ア	4	352	135	217	350	133	217	72	27	45	4.9
		史 学 地 理 学 科	日 本 史 学	5	354	218	136	354	218	136	95	55	40	3.7
			ア ジ ア 史	3	100	55	45	100	55	45	44	22	22	2.3
			西 洋 史 学	4	232	140	92	232	140	92	79	39	40	2.9
			考 古 学	3	125	72	53	125	72	53	38	18	20	3.3
			地 理 学	4	139	110	29	138	109	29	37	27	10	3.7
			臨 床 心 理 学	4	309	89	220	307	89	218	70	26	44	4.4
	心 理 社 会 学 科	現 代 社 会 学	4	271	112	159	270	111	159	72	25	47	3.8	
		計		79	3,795	1,703	2,092	3,690	1,649	2,041	1,077	469	608	3.4
	5科目方式	文 学 科	日 本 文 学	3	57	26	31	46	21	25	22	9	13	2.1
			英 米 文 学	3	45	22	23	37	19	18	16	9	7	2.3
			ドイ ツ 文 学	2	13	8	5	9	6	3	4	3	1	2.3
			フ ラ ン ス 文 学	2	13	5	8	11	5	6	8	4	4	1.4
			演 劇 学	2	16	6	10	14	5	9	9	4	5	1.6
			文 芸 メ デ ィ ア	2	46	20	26	34	16	18	20	8	12	1.7
		史 学 地 理 学 科	日 本 史 学	3	61	46	15	52	41	11	21	17	4	2.5
			ア ジ ア 史	2	17	7	10	12	7	5	8	5	3	1.5
			西 洋 史 学	2	44	32	12	32	23	9	21	14	7	1.5
			考 古 学	2	18	14	4	14	10	4	6	5	1	2.3
			地 理 学	2	41	32	9	34	27	7	15	12	3	2.3
			臨 床 心 理 学	2	57	19	38	43	14	29	23	7	16	1.9
		心 理 社 会 学 科	現 代 社 会 学	2	40	24	16	35	20	15	16	9	7	2.2
計				79	3,795	1,703	2,092	3,690	1,649	2,041	1,077	469	608	3.4
理工学部		3教科方式	電 気 電 子 生 命 学 科	電 気 電 子 工 学	7	414	384	30	411	381	30	155	142	13
	生 命 理 工 学			2	265	198	67	264	197	67	66	52	14	4.0
	機 械 工 学 科		機 械 工 学	5	793	737	56	789	733	56	213	193	20	3.7
			機 械 情 報 工 学 科	9	489	443	46	488	442	46	164	151	13	3.0
			情 報 科 学 科	7	829	708	121	823	702	121	237	203	34	3.5
	4教科方式	電 気 電 子 生 命 学 科	電 気 電 子 工 学	5	276	245	31	273	242	31	97	84	13	2.8
			生 命 理 工 学	1	147	103	44	146	102	44	35	22	13	4.2
		機 械 工 学 科	機 械 工 学	5	616	562	54	615	561	54	166	148	18	3.7
			建 築 学 科	12	1,089	781	308	1,083	777	306	244	167	77	4.4
		応 用 化 学 科	7	901	663	238	901	663	238	231	167	64	3.9	
		数 学 科	4	343	282	61	342	281	61	101	79	22	3.4	
		物 理 学 科	7	464	388	76	462	386	76	170	150	20	2.7	
	計		71	6,626	5,494	1,132	6,597	5,467	1,130	1,879	1,558	321	3.5	
	農学部	農 学 科	15	749	459	290	741	453	288	200	114	86	3.7	
農 芸 化 学 科		15	651	247	404	643	243	400	160	58	102	4.0		
生 命 科 学 科		15	924	534	390	918	530	388	243	138	105	3.8		
食 料 環 境 政 策 学 科		15	571	303	268	571	303	268	128	58	70	4.5		
計			60	2,895	1,543	1,352	2,873	1,529	1,344	731	368	363	3.9	

大学入試センター試験利用入学試験(前期日程)

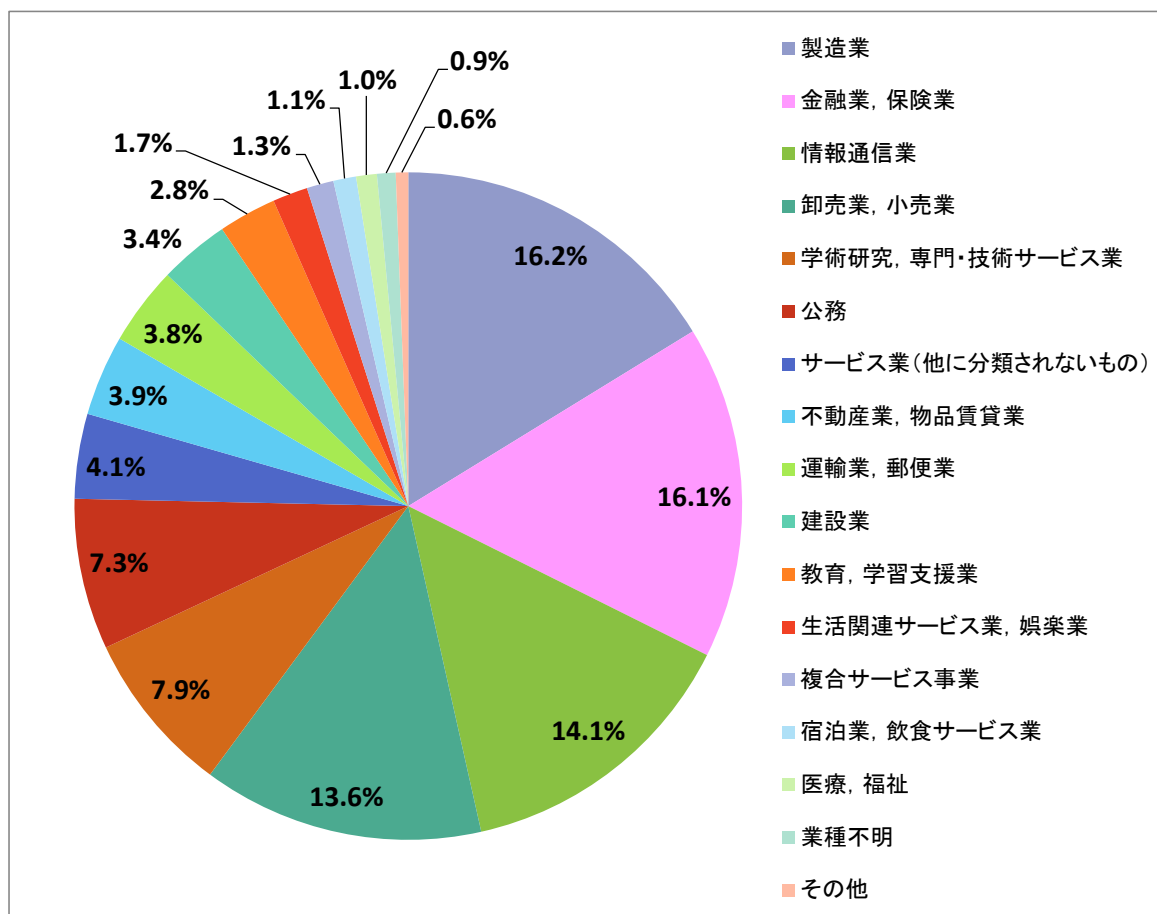
経営学部	3科目方式	経営学 会計学 公共経営学	30	1,613	1,085	528	1,608	1,082	526	293	195	98	5.5
	4科目方式	経営学 会計学 公共経営学	25	852	590	262	852	590	262	330	217	113	2.6
	計			55	2,465	1,675	790	2,460	1,672	788	623	412	211
情報コミュニケーション学部	3科目方式	情報コミュニケーション学	30	1,433	801	632	1,424	798	626	263	145	118	5.4
	6科目方式	情報コミュニケーション学	10	236	127	109	236	127	109	90	48	42	2.6
	計			40	1,669	928	741	1,660	925	735	353	193	160
国際日本学部	3科目方式	国際日本学	20	1,391	473	918	1,390	472	918	289	93	196	4.8
	4科目方式	国際日本学	10	450	151	299	450	151	299	150	58	92	3.0
	計			30	1,841	624	1,217	1,840	623	1,217	439	151	288
総合数理学部		現象数理学	7	222	175	47	221	174	47	36	25	11	6.1
		先端メディアサイエンス学	9	324	219	105	323	219	104	47	24	23	6.9
		ネットワークデザイン学	7	107	91	16	102	87	15	29	25	4	3.5
	計			23	653	485	168	646	480	166	112	74	38
前期日程 小計			693	31,533	20,656	10,877	31,199	20,437	10,762	8,787	5,717	3,070	3.6

学部・方式・学科(専攻)	募集人員	志願者数				受験者数			合格者数			競争率 受験者/合格者	
		計	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子			
商学部	18	163	113	50	157	107	50	61	42	19	2.6		
政治経済学部	政治学	5	10	8	2	10	8	2	2	1	1	5.0	
	経済学	10	34	25	9	30	22	8	15	11	4	2.0	
	地域行政学	5	12	9	3	11	8	3	2	2	0	5.5	
計		20	56	42	14	51	38	13	19	14	5	2.7	
理工学部	電気電子生命学	電気電子工学	1	31	25	6	31	25	6	11	10	1	2.8
		生命理工学	1	21	12	9	21	12	9	7	4	3	3.0
	機械情報工学	1	30	25	5	30	25	5	17	14	3	1.8	
	建築学	1	27	20	7	27	20	7	12	9	3	2.3	
	応用化学	1	31	19	12	31	19	12	17	12	5	1.8	
	情報科学	1	24	16	8	24	16	8	12	8	4	2.0	
	数学	1	18	11	7	18	11	7	5	3	2	3.6	
	物理学	1	12	10	2	12	10	2	8	6	2	1.5	
計		8	194	138	56	194	138	56	89	66	23	2.2	
総合数理学部	現象数理学	1	18	15	3	18	15	3	6	5	1	3.0	
	先端メディアサイエンス学	1	29	19	10	29	19	10	3	2	1	9.7	
	ネットワークデザイン学	1	21	17	4	21	17	4	5	4	1	4.2	
	計		3	68	51	17	68	51	17	14	11	3	4.9
後期日程 小計			49	481	344	137	470	334	136	183	133	50	2.6
大学入試センター試験利用入学試験 合計			742	32,014	21,000	11,014	31,669	20,771	10,898	8,970	5,850	3,120	3.5

一般入試総計	4715	105702	69665	36037	100058	65980	34078	24909	16640	8269	4.0
--------	------	--------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	------	-----

#### (4) 業種別就職状況及び主な就職先

##### ①業種別就職状況



##### ②主な就職先

順位	内定先名称	人数
1	(株)みずほフィナンシャルグループ	71
2	国家公務員 一般職	51
3	(株)三菱東京UFJ銀行	47
4	東京特別区	45
5	東日本旅客鉄道(株)	43
5	りそなグループ	43
7	日本郵政グループ	40
8	(株)三井住友銀行	34
9	JTBグループ【旅行事業会社群】	27
9	ソフトバンクグループ	27
11	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	24
12	(株)大和証券グループ本社	23
12	東京海上日動火災保険(株)	23
14	SMBC日興証券(株)	22
15	(株)千葉銀行	21
16	富士通(株)	20
17	東京都庁	19
17	三菱電機(株)	19
17	明治安田生命保険(相)	19
20	凸版印刷(株)	17

順位	内定先名称	人数
21	国税専門官	16
21	新日本有限責任監査法人	16
21	三井住友海上火災保険(株)	16
24	三井住友信託銀行(株)	15
24	三菱UFJ信託銀行(株)	15
24	(株)LIXIL	15
27	(株)商工組合中央金庫	14
27	日本年金機構	14
27	日本生命保険(相)	14
27	野村證券(株)	14
27	みずほ証券(株)	14
27	楽天(株)	14
33	キヤノン(株)	13
33	警視庁	13
33	埼玉県庁	13
33	(株)静岡銀行	13
33	損害保険ジャパン日本興亜(株)	13
33	東日本電信電話(株)	13
33	(株)マイナビ	13
33	三菱UFJモルガン・スタンレー証券(株)	13

2015年3月31日現在